

消防年報

平成24年



亀山市消防本部

(平成25年刊行)

「 豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく亀山 」



亀山城多門櫓



関の山車



中の山パイロット



東海道五十三次「亀山宿」



市章

平成17年1月11日に亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。新市の市章には、全国各地から1,863点の作品応募があり、選考の結果、左の作品が新「亀山市」の市章に決定しました。

これは、亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面(ウエーブ)はときめく亀山市の限りない発展を表しています。



市の木

市の木「杉」は、野登寺の杉並木や川俣神社、片山神社のご神木の杉など、市内を代表する歴史的な背景を持つ史跡とともに、古くからなまれてきた木です。



市の花

市の花「花しょうぶ」は、亀山公園内の菖蒲園に100種2万株の花が咲き誇り、毎年6月には「花しょうぶまつり」が開かれるなど、なじみ深く親しみのある花です。

はじめに

この年報は、亀山市の消防機関の組織実態等とともに、平成24年中における火災、救急・救助等の統計データを取りまとめ、市民の皆様に消防の現状についてご理解ご協力をいただくために編集しているものです。

なお、予算関係の数値は当初予算を記載し、災害統計は暦年、事業概要等は会計年度、その他は記載年月日としています。

平成25年7月

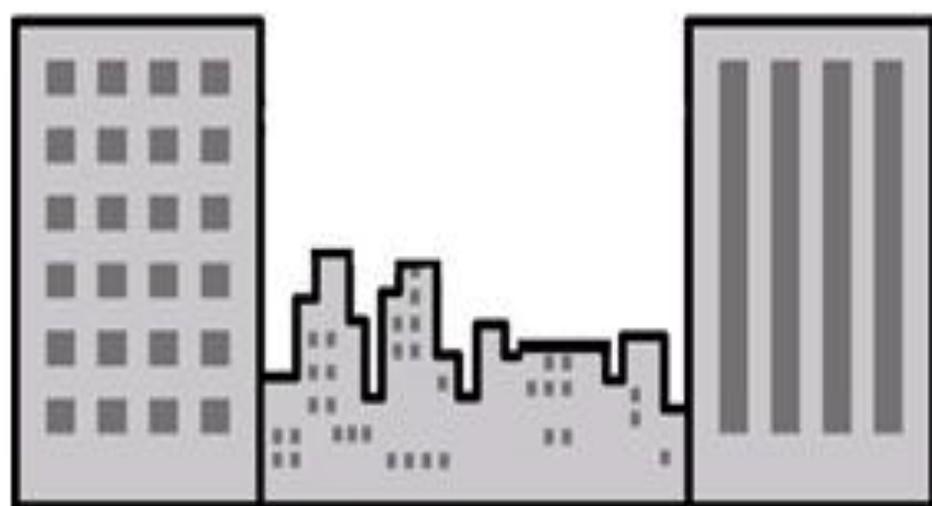
亀山市消防本部

目 次

1 概況	
(1) 亀山市の沿革 -----	1
(2) 亀山市消防のあゆみ -----	2
(3) 亀山市勢 -----	10
(4) 市予算と消防予算の比較表 -----	11
(5) 消防庁舎の概要、消防車両等配置状況 -----	12
(6) 消防本部(署)車両紹介 -----	14
(7) 地区別各種災害出動件数表 -----	16
(8) 平成24年度中における主な行事等 -----	17
2 総務	
(1) 消防本部・消防署組織、事務分掌 -----	18
(2) 歴代消防長一覧表 -----	19
(3) 職員配置表 -----	20
(4) 条例定数推移表 -----	21
(5) 消防職員数の累年比較表 -----	22
(6) 消防職員年令表 -----	23
(7) 職員各種免許等取得状況 -----	24
(8) 平成24年度主要事業(施設・備品整備)一覧表 -----	25
3 警防	
(1) 火災発生状況 -----	26
(2) 10年間の火災件数・損害額等比較表 -----	27
(3) 出火原因別火災件数表 -----	28
(4) 月別火災状況 -----	29
(5) 出火時間帯別火災状況 -----	30
(6) 亀山市消防水利一覧表 -----	31
(7) 月別消防訓練指導回数表 -----	32
4 救急	
(1) 救急出動状況 -----	33
(2) 年別救急出動状況 -----	34
(3) 月別救急出動件数表 -----	35
(4) 時間帯別救急出動件数表 -----	36
(5) 応急処置別件数表 -----	37
(6) 年令別搬送人員表 -----	38
(7) 月別救命講習参加人員表 -----	39
5 通信・指令	
(1) 消防緊急通信指令システム概要 -----	40
(2) 月別気象状況 -----	41
6 予防	
(1) 防火対象物一覧表 -----	42
(2) 各種届出処理状況 -----	43
(3) 危険物製造所等の施設推移状況(完成検査済) -----	44
(4) 危険物製造所等申請・届出処理状況 -----	45
(5) 住宅用火災警報器に関するアンケート調査結果等 -----	46
(6) 幼少年・女性防火委員会加入団体一覧表 -----	47

7 消防団	
(1) 消防団組織 -----	48
(2) 歴代消防団長一覧表 -----	49
(3) 消防団員配置表 -----	50
(4) 消防団員年令表 -----	51
(5) 消防団車両等一覧表 -----	52
8 亀山市消防の歌 -----	53

概況



亀 山 市 の 沿 革

亀山市の歴史は古く、鈴鹿の関は、越前の愛発、美濃の不破とともに日本三関と呼ばれ、都と東国を結ぶ交通の要衝として栄え、江戸時代には、亀山宿、関宿、坂下宿が東海道の宿場町としてにぎわい、とりわけ、関宿は、西の追分で鈴鹿峠越えの東海道と加太越えの大和・伊賀街道へ、東の追分で東海道と伊勢別街道へ、それぞれ分岐していたため、参勤交代や伊勢参りなど、多くの旅人が往来した。また、亀山宿では、亀山城を中心に形成され、現在の市街地の基礎となっています。

明治4年に廃藩置県、明治22年の新市町村制の施行に伴い戸数1,300戸、人口7,000人の亀山町が誕生、明治41年には更に1ヵ村を合併し人口も10,000人を数え、昭和29年（1954年）まで、この地域は亀山町、昼生村、井田川村、川崎村、野登村、白川村、神辺村、関町、加太村、坂下村の2町8村から構成されていました。

昭和29年10月に亀山町と昼生村、井田川村、川崎村、野登村が合併し、亀山市が新設され、その後、一部が鈴鹿市へ編入し、新たに白川村、神辺村の一部や芸濃町楠平尾を編入し、亀山市となりました。

関町については、昭和30年2月に関町に白川村、神辺村の一部を編入し、昭和30年4月に関町と加太村、坂下村が合併して関町が新設され、その後、一部が伊賀町へ編入し、新たに芸濃町萩原、福徳を編入して関町となりました。

平成17年1月11日には亀山市と関町が合併し、新「亀山市」が誕生しました。平成の大合併としては、県内で6番目の合併となり、人口は48,670人、面積が190.91km²で、いずれも県内市町村中10番目の規模となり現在の市の行政区域として、平成20年2月21日、「5万人都市」となりました。

亀山市誕生当時の昭和30年代は、まさに亀山市の成長期でありました。戦後処理のまださめやらぬ中で、保育所の建設、失業者対策、衛生施設の整備、道路交通網の整備、教育施設の整備等、文化的な生活を営む上で基本的に必要な生活基盤の整備を推進しました。

昭和40年代の日本経済の高度成長期には、能褒野工業団地に代表される企業誘致や住宅団地の造成等によって、産業構造や市民生活が大きく変化し、また昭和46年の台風23・29号や昭和49年の集中豪雨等の大災害に遭遇したが、これらに対応すべく産業基盤の整備、上水道の敷設、福祉施設の充実等、産業の近代化と社会福祉の向上を図りつつ、昭和50年代に、スポーツ施設の建設、関西本線の電化推進、街路の整備、文化施設の建設及び生活環境施設等の整備充実に取り組みました。

現在は、“豊かな自然・悠久の歴史 光ときめく亀山”を実現するため、まちづくり基本条例の制定をはじめ、「市民力で地域力を高めるまちづくり」と安心安全に軸足を置いた、第1次亀山市総合計画後期基本計画を策定いたしました。いま、まさに市民が主役となった市民活動が展開されています。

亀 山 市 消 防 の あ ゆ み

- 昭和24年 2月 消防組織法(昭和23年法律第226号)に基づき亀山町消防本部を設置
消防職員4名(役場兼務職員を含む)、消防ポンプ自動車1台をもって自治体消防を発足する
- 昭和26年 2月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和27年 3月 日本消防協会から表彰旗を授与
- 昭和29年 3月 消防庁長官から竿頭綬を授与
- 10月 鈴鹿郡亀山町、川崎村、野登村、井田川村、及び屋生村の5ヶ町村が合併して市制を施行し「亀山市」を発足
市制施行により、亀山町消防本部を亀山市消防本部に名称替えを、また消防団は5団制をとる
- | | | | | | |
|---------|-----|------|------|-------------|----|
| 消防本部 | 1 | 消防職員 | 3名 | 水槽付消防ポンプ自動車 | 1台 |
| 消防団 | 5 | 消防団員 | 295名 | 消防ポンプ自動車 | 3台 |
| 手引動力ポンプ | 11台 | | | | |
- 昭和30年 2月 鈴鹿郡神辺村布気、太岡寺、山下、木下及び小野の一部並びに白川村白木、小川の区域を編入合併、旧神辺村、白川村消防団に加え7団制、団員366名となる
- 5月 各地区の旧消防関係条例を廃止し、亀山市消防に関する条例施行により消防団を総合再編成する
- | | | | | |
|----------|----|------|-------------|------|
| 消防団 | 1団 | 6ヶ分団 | 消防団員 | 366名 |
| 消防団の管轄区域 | | 第1分団 | (旧亀山町、井田川村) | |
| | | 第2分団 | (旧神辺村) | |
| | | 第3分団 | (旧屋生村) | |
| | | 第4分団 | (旧川崎村) | |
| | | 第5分団 | (旧野登村) | |
| | | 第6分団 | (旧白川村) | |
- 初代消防団長に伊藤栄二郎氏が就任
- 昭和31年 6月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 6月 第4分団(太田)、第5分団(池山)、第6分団(小川)に小型動力ポンプ各1台配置
消防本部に中短波陸上無線電話(基地局1、移動局2)設置
- 昭和32年 5月 職員1名増員
- 9月 第2分団(山下)、第3分団(中庄)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和33年 8月 職員2名増員
- 10月 消防本部に消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和34年 4月 新消防庁舎を本丸町577に建設する
昭和34年4月10日着工 昭和34年6月23日竣工
木造亜鉛鉄瓦棒葺平屋建 建築面積 208.17㎡
- 8月 職員1名増員
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
昭和34年9月、台風15号(伊勢湾台風)による風水害の災害救助、復旧に尽力し、消防団が国務大臣(中部日本災害対策本部長)から12月9日感謝状を授与
- 昭和35年 11月 第2分団(小野)、第5分団(坂本)に小型動力ポンプ各1台配置
- 12月 消防本部に中短波陸上無線電話の移動局(1)を増設
- 昭和36年 5月 第5分団(平尾)に運搬車1台配置
- 6月 職員2名増員
- 9月 第4分団(能褒野)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和37年 4月 消防本部に事務連絡用単車1台配置
- 5月 第4分団(南条)に運搬車1台配置、職員1名増員
- 10月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ1台配置
- 11月 職員4名増員
- 昭和38年 10月 職員1名増員
- 昭和39年 1月 消防本部に運搬車1台配置
- 3月 消防本部に小型動力ポンプ1台配置し運搬車に積載する
- 7月 職員1名増員
- 11月 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車1台配置し消防ポンプ自動車1台を第1分団へ配置替えする
- 昭和40年 4月 消防団条例の一部改正により消防団員を317名に削減、職員2名、女子事務員1名増員
- 8月 職員1名増員
- 10月 第5分団(安楽)に小型動力ポンプ1台配置
- 昭和41年 4月 職員8名増員

- 昭和42年 8月 第2分団(太岡寺)、第6分団(白木)に運搬車各1台配置、また第4分団(田村)に小型動力ポンプ1台配置
 3月 元消防庁舎跡に鉄筋コンクリート造の新庁舎を建設
 昭和42年4月1日着工 昭和42年10月30日竣工
 4月 消防署を設置、名称を亀山市消防署とし、消防本部・署職員31名、水槽付消防ポンプ自動車2台、消防ポンプ自動車1台、職員5名増員
- 昭和43年 8月 第3分団(中庄)に運搬車1台配置
 10月 亀山ライオンズクラブから気象観測計器(自記風向、風速計)の寄贈を受け、また自記雨量計、通風乾湿計等気象観測施設を設置
 3月 昭和42年3月6日に発生した国道1号鈴鹿トンネル内の車両火災に際し、その消防活動の功績に対し消防本部、消防団が三重県知事から表彰を受ける
 第4分団(南条)に小型動力ポンプ1台配置
 5月 第5分団(平尾)の運搬車更新
 9月 消防団条例の一部改正により消防団員を280名に削減
 職員1名退職
- 昭和44年 4月 日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
 8月 消防署に救急自動車1台配置
 9月 政令指定により救急業務開始
 第2分団(木下)、第5分団(辺法寺)、第6分団(白木)に小型動力ポンプ各1台配置
 10月 中短波陸上無線電話(基地局1、移動局4)を超短波無線電話に全て切り替えるとともに移動局(2)を増設する 職員1名増員
 消防団長伊藤栄二郎氏の退団(死亡)。一見忠夫氏が就任
- 昭和45年 4月 職員3名増員
 6月 第4分団(徳原)に小型動力ポンプ1台配置
 7月 消防署に運搬車1台配置
- 昭和46年 3月 宮西昌雄氏から寄付金を受け「空気呼吸器3基」「超短波無線電話1基」を購入し消防署に配置
 9月 消防署に携帯超短波無線電話1基配置
 12月 第2分団(中村)、第5分団(原尾)小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和47年 2月 職員1名退職
 3月 消防署に消防ポンプ自動車1台を配置し、消防署の消防ポンプ自動車1台を第1分団(本町)に配置替
 三重県消防大会(3月29日)において三重県知事から優良消防団として竿頭綬を授与
 4月 消防署に携帯用超短波無線電話2基配置 職員3名増員
 6月 第1分団(本町)、第4分団(南条)の運搬車更新
 8月 第1分団(本町)に小型動力ポンプ1台配置、運搬車に積載
- 昭和48年 2月 消防署にII型化学消防自動車1台配置
 3月 成田正次、中島 高、両氏から寄付金を受け「携帯用酸素切断機1台」、「背負式消火水のう8基」を購入し消防署に配置
 4月 職員1名欠員補充
 6月 消防署に広報車(1600cc)1台配置
 9月 第3分団(三寺)、第6分団(松山)に小型動力ポンプ各1台配置
- 昭和49年 3月 第1分団(川合)、第6分団(小川)分団車庫新築
 4月 職員2名欠員補充
 7月 第4分団(太田)分団車庫新築
 消防本部組織を一部改正し、新しく危険物係を設置
 8月 第4分団(太田)、第5分団(池山)の小型動力ポンプ更新
 11月 三重県知事から7月未明の集中豪雨の功労に対し表彰状を授与
- 昭和50年 4月 職員4名欠員補充
 5月 石井彦一郎氏から、単車(125cc)の寄贈を受け消防署に配置
 10月 三重県共済農業組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に配置
 第2分団(山下)、第3分団(中庄)の小型動力ポンプ更新
- 昭和51年 2月 第3分団(下庄)、第4分団(田村)分団車庫新築
 3月 第5分団(平尾)分団車庫新築、移転
 職員1名退職
 4月 職員4名欠員補充
- 昭和52年 10月 第2分団(小野)、第6分団(小川)の小型動力ポンプ更新
 1月 第5分団(辺法寺)分団車庫新築
 4月 職員4名欠員補充
 職員1名退職
 8月 第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ更新

- 9月 消防署に車載用超短波無線機2台配置
- 10月 第6分団(上白木)分団車庫新築
- 12月 第5分団(原尾)分団車庫増築
- 昭和53年 4月 消防長(初代専任)三宅長治氏が就任
職員4名欠員補充
- 7月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、予防係、危険物係、防災係、企画係の5係を消防署に消防第一・第二係、救急通信第一・第二係の4係
- 9月 関町と亀山市との間における消防事務の事務委託に関する規約を議決
小型動力ポンプ付積載車を消防団本部(本町)、第1分団(井田川)、第5分団(平尾)に配置
小型動力ポンプ台車付1台を第3分団(下庄)に配置(更新)
- 10月 自動遠隔サイレン吹鳴装置、基地局1基、子局3基(太岡寺町、白木町、川崎町)設置
- 昭和54年 11月 日本損害保険協会から「火災保険号」の寄贈を受け消防署に配置
- 2月 事務委託に関する規約に基づき、協定書及び覚書の調印を行った
消防署にトヨタ2B型救急車配置及び移動用10W無線機を積載
- 3月 関町と亀山市との広域消防施行式を商工会館にて挙行
第4分団(南条)に分団車庫新築
- 4月 関町と亀山市との間における消防事務の事務委託業務を開始
広域消防整備計画に基づき消防職員11名を増員
- 9月 自動遠隔サイレン吹鳴装置、子局4基(井田川、屋生、平尾、池山)設置
関分署庁舎竣工式
- 10月 亀山市消防署関分署開署式挙行、分署長以下15名職員を配置し、分署業務を開始する
消防事務委託に関する規約及び協定書に基づき、分署の施設・備品の整備について覚書を交換し、その体制を整える
小型動力ポンプ付積載車1台を第6分団(白木)に配置、小型動力ポンプ付積載車1台を第3分団(中庄)に配置(更新)
- 昭和55年 4月 職員1名退職
- 5月 消防本部に広報車(1400cc)1台配置
- 7月 亀山市防火協会の発足
消防署に携帯用超短波無線電話5W4基配置
- 8月 災害情報等自動案内装置(機種ゼネラル)1台消防署に配置
- 10月 山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置
小型動力ポンプ付積載車(B3級)2台、第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)に配置(更新)
職員1名欠員補充
- 昭和56年 3月 第2分団(神辺)分団車庫新築
- 4月 消防団長一見忠夫氏退団。村山守氏が就任
亀山・関地域ガス安全対策連絡協議会発足
- 5月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に庶務係、警防係、予防係、危険物係4係を、消防署に新たに装備係を設置
- 昭和57年 1月 亀山市消防の歌制定
- 8月 団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
第5分団(安楽)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
- 昭和58年 11月 関分署に水槽付消防ポンプ車(I-B型 A2級)1台配置
- 1月 消防本部及び消防署の機構改革を図る 本部に総務係、予防係、消防署に警防係、査察係、訓練指導係、装備係、関分署に警防係を設置
職員1名退職
- 3月 第6分団(白川、松山)分団車庫新築
- 昭和59年 11月 消防署に水槽付消防ポンプ自動車(I-B型 A2級)1台配置
- 12月 消防署に救急医療情報システム設置
- 2月 職員1名退職
- 3月 消防長三宅長治氏退職。下条繁氏が就任
消防署に通信指令係を設置
- 4月 第5分団(池山)分団車庫新築
- 昭和60年 12月 幼年消防クラブ(4クラブ)設立
- 2月 第1分団(本町)分団詰所改築工事
- 3月 第36回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催
職員2名退職
移動用無線機5W 2基購入
- 4月 職員2名欠員補充
消防本部組織の一部改正により、消防署に整備指導係を設置

- 消防団再編成計画により、消防団員定員280名を262名に再編成
- 昭和61年
 8月 亀山関幼年婦人防火委員会設立
 9月 第4分団(田村)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 10月 亀山ライオンズクラブから救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に設置
 12月 平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
 4月 消防団再編成計画により、消防団員定員262名を251名に再編成
 5月 消防本部の広報車(1600cc)更新
 6月 職員1名退職
 10月 第1分団(羽若)分団車庫新築(増)
 第1分団(羽若)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
- 昭和62年
 11月 昼生地区コミュニティ消防センター新築
 消防署に消防専用超短波無線機固定用10W1台配置
 2月 第3分団(中庄)、第5分団(平尾)、第6分団(白木)に林野火災用軽可搬式ポンプ(D1級)各1台配置
 3月 自治省消防庁から消防庁長官表彰旗を授与
 カメヤマローソク(株)から消防資金として100万円寄贈(空気呼吸器資金)
 4月 職員1名欠員補充
 消防団再編成計画により、消防団員定員251名を243名に再編成
 7月 消防署関分署に広報車(1600cc)1台配置
 11月 第2分団(木下)に小型動力ポンプ(B3級)1台配置
 12月 空気呼吸器150kgf/cm² 10基購入
- 昭和63年
 3月 本町地区防災センター新築
 第1分団(天神)分団車庫新築(積載車1台配置)
 4月 消防団再編成計画により、消防団員定員243名を240名に再編成(再編成計画終決)
 7月 三重県消防団長会議 亀山市文化会館にて開催
 野登地区(辺法寺、原尾、安楽、池山、坂本)婦人防火クラブ(5クラブ)設立
 10月 山林火災用軽四輪積載車(550cc)1台消防署に配置(更新)
 第5分団(辺法寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 11月 第2分団(布気)分団車庫新築(増)
 12月 第2分団(布気)に小型動力ポンプ付積載車(B3級)1台配置
 携帯用無線機(5W)5基購入
- 平成元年
 5月 関地区(市瀬)婦人防火クラブ(1クラブ)設立
 8月 (財)日本消防協会から、平尾婦人防火クラブに軽可搬(D1級)1台寄贈
 10月 (財)日本消防協会から、亀山市消防本部に防災用資器材(携帯用無線機10基、携帯拡声器2台)寄贈
 11月 第6分団(上白木)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 防災行政用無線機を消防団積載車搭載 10基
 12月 消防署の消防ポンプ自動車(CD-I型、A2級)更新
 亀山3号を第1分団本町車庫に配置替え
- 平成2年
 2月 (財)日本消防協会から、亀山市消防団に竿頭綬を授与
 3月 第2分団(山下、木下)分団車庫新築移転
 7月 職員1名退職
 8月 (財)日本消防協会から救急自動車(2B型)寄贈
 団本部に小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
 9月 第4分団(徳原)、第5分団(原尾)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 10月 第6分団(松山)に山林火災用軽四輪積載車1台配置(増)
 12月 消防署関分署の救急車(2B型)更新
- 平成3年
 1月 第3分団(三寺)分団車庫新築移転
 2月 消防署の化学消防ポンプ自動車(II型・A2級)更新
 空気呼吸器300kgf/cm² 5基購入
 3月 消防長下條繁氏退職。田名瀬治好氏が就任
 4月 消防団長村山守氏退団。鈴木吉男氏が就任
 職員2名欠員補充
 5月 消防本部の指令広報車(1800cc)更新
 9月 第1分団(井田川)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
 10月 第6分団(松山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
 消防署の軽可搬小型動力ポンプ(C1級)更新
 11月 第5分団(池山)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
- 平成4年
 1月 (社)日本自動車工業会から救急自動車(2B型)寄贈
 2月 消防署の救急自動車(2B型)更新
 第5分団(坂本)分団車庫新築移転

- 4月 職員1名欠員補充
7月 消防本部の指揮車(2000cc)更新
8月 第1分団(天神)、第5分団(平尾)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
10月 第3分団(下庄)の山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
第3分団(三寺)の小型動力ポンプ(B3級)更新
12月 消防署の消防ポンプ自動車(CD-1型、A2級)更新
- 平成5年 1月 第2分団(小野)分団車庫新築移転
関分署管内119番の本署統合、通信の一元化
3月 亀山6号を第1分団本町車庫配置替え(更新)
9月 第3分団(中庄)、第6分団(白木)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
- 平成6年 1月 第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
3月 防災ヘリ用消防無線機(基地局・固定局)1基増設
消防無線設備周波数変更(153.55MHzを151.31MHz)
消防署救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
救急用資器材(EOG滅菌器、気管挿入モデル、SpO₂測定器等 10点)配備
第4分団(徳原)、第5分団(安楽)分団車庫新築移転
第4分団(田村)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
第5分団(池山)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 4月 職員2名増員
6月 高規格救急車 車両機装(自動車FAX、バックアイカメラ・モニター外5点)
白川地区(小川町)小川婦人防火クラブ(1クラブ)設立
7月 消防本部、消防署機構改革 本部の消防課に企画整備係と危険物係を、消防署に救急通信担当司令、警防担当司令と救急係を新設
救急用資器材配備(自動式人工呼吸器、自動心肺蘇生装置、在宅医療処置用セット外5点)
職員1名退職
- 10月 消防庁舎移転用地無線伝播調査
11月 救急救命士資格取得1名
消防庁舎移転用地買収(野村四丁目1279-2)
12月 第2分団(布気)消防詰所増築
- 平成7年 1月 阪神、淡路大震災に伴う出動(消火隊)
3月 消防長田名瀬治好氏退職。羽田野勇喜男氏が就任
消防庁舎移転用地地質調査
亀山市消防庁舎設計監理委託(梓設計)
第2分団(太岡寺)、第4分団(南条)の小型動力ポンプ付積載車(B3級)更新
- 4月 消防本部の機構改革 予防課を新設
職員2名増員
6月 消防本部の防火広報車(亀山4)更新
9月 宮西祥雄氏から耐ガス密封防護服2着、複合ガス検知器1基、防毒衣3着の寄贈を受け消防署に配備
- 12月 消防庁舎新築移転工事着工
- 平成8年 1月 第4分団(太田)の小型動力ポンプ(B3級)更新
2月 第3分団(三寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)
3月 第6分団(小川)分団車庫改築
4月 職員2名増員
亀山地区 楠平尾婦人防火クラブ(1クラブ)設立
5月 救急救命士資格取得1名
8月 関地区「関町スポーツ少年団」少年消防クラブ(1クラブ)設立
- 平成9年 12月 関分署の消防ポンプ自動車(CD-1)関1 更新
2月 第2分団(山下)の小型動力ポンプ(B3級)更新
第6分団(小川)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配備(増)及び小型動力ポンプ(B3級)更新
高度救急処置シュミレーター(救急処置用人形一式、心肺蘇生用訓練人形一式)
亀山市野村四丁目1番23号に新消防庁舎建築工事完了
庁舎棟
鉄筋コンクリート造3階建
建築面積 1,683.20㎡
延べ面積 2,479.71㎡
訓練塔(主塔)
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建
建築面積 30.25㎡

- 延べ面積 90.75㎡
 訓練塔(副塔)
 鉄骨造3階建
 建築面積 29.03㎡
 延べ面積 49.52㎡
- 平成10年
 3月 消防緊急通信指令施設(Ⅰ型)設置工事完了
 防災展示コーナー(消防プラザ)設置工事完了
 第4分団(能褒野)分団車庫改築
 第5分団(池山)にホース干し鉄塔建設
 職員3名退職
 4月 亀山市消防本部、亀山消防署、新庁舎竣工運用開始
 亀山市消防本部、亀山消防署機構改革に伴い消防本部に通信指令室を新設
 関分署を関消防署に昇格、1本部2署体制とする
 職員3名欠員補充
 5月 救急救命士資格取得1名
 6月 消防本部に事務連絡用軽四輪車1台配備(増)
 8月 消防無線機(移動局10W2台、携帯局5W8台)更新
 11月 消防団長鈴木吉男氏退団。葛西行弘氏が就任
 消防緊急通信指令施設指令伝送出力装置設置工事完了(市役所内2箇所に設置)
 12月 第5分団(辺法寺)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
 第2分団(小野)、第4分団(能褒野)、第5分団(坂本)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成11年
 3月 亀山消防署に救助工作車Ⅱ型1台配置(増)
 第49回三重県消防大会 亀山市文化会館にて開催
 職員1名退職
 4月 職員1名欠員補充 1名増員
 三重県防災航空隊派遣1名
 5月 第49回全国消防長会救急委員会 亀山市消防庁舎、亀山市文化会館にて開催
 10月 移動体電話119番通報運用開始
 12月 第2分団(木下)に山林火災用軽四輪積載車(660cc)1台配置(増)
 第3分団(下庄)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成12年
 3月 消防長羽多野勇喜男氏退職。三宅昭之氏が就任
 職員1名退職
 第5分団(辺法寺)ホース干し鉄塔建設
 4月 亀山市消防団規則の一部改正に伴い6分団制から7分団制に組織改革
 第1分団(亀山)
 第2分団(神辺)
 第3分団(昼生)
 第4分団(川崎)
 第5分団(野登)
 第6分団(白川)
 第7分団(井田川)
 組織改革に伴い第1分団(井田川消防車庫)を第7分団(川合消防車庫)に変更
 職員1名欠員補充
 5月 救急救命士資格取得1名
 9月 第7分団(みどり町)分団車庫及びホース干し鉄塔新築
 12月 消防団本部の小型動力ポンプ付積載車(亀山1)更新
 第7分団(みどり町)に小型動力ポンプ付積載車1台配置(増)
 第5分団(安楽)の小型動力ポンプ(B3級)更新
- 平成13年
 2月 亀山消防署の山林火災用軽四輪積載車(亀山5)更新
 3月 職員1名退職
 4月 職員1名欠員補充
 5月 救急救命士資格取得1名
 11月 職員1名退職
 1月 第1分団(本町)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
 2月 亀山消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(亀山7)1台更新
 3月 職員1名退職
 4月 職員2名欠員補充
 5月 救急救命士資格取得1名
 消防本部の指令広報車(亀山52)更新
 11月 関消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
 12月 職員1名退職

- 平成14年 3月 第1分団(羽若)の小型動力ポンプ付積載車1台更新
消防長三宅昭之氏退職。米田功氏が就任
職員1名退職
- 4月 職員2名欠員補充
平成14年度全国消防長会東海支部総会 亀山市文化会館にて開催
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 平成15年 12月 亀山消防署 救急自動車(2B型)を高規格救急車に更新
- 3月 関消防署新庁舎竣工運用開始
構造 木造2階建一部鉄筋コンクリート造
敷地面積 2,256.02㎡
建築面積 685.43㎡
延べ面積 781.03㎡
職員1名退職
- 4月 消防職員の条例定員67名を71名に改正
職員3名増員 1名欠員補充
消防団員再編成計画により、消防団員定員240名を270名に再編成
- 5月 救急救命士資格取得1名
緊急消防援助隊登録(消火隊)
- 8月 桑名郡多度町三重ごみ固形燃料(RDF)発電所火災に三重県内消防相互応援協
定に基づき出動
- 平成16年 11月 自治体消防55周年記念式典参加(東京都)
- 1月 消防本部の消防長車(亀山51)更新
- 2月 関消防署の水槽付消防ポンプ自動車(A-2)更新
- 3月 亀山消防署に30m級はしご付消防ポンプ自動車配置
ISO14001認証取得
- 4月 亀山消防署の救助工作車を関消防署へ配置替え
職員1名欠員補充
亀山市消防団規則の一部改正に伴い7分団制から8分団制に組織改革、並びに
女性消防団発足
第1分団(亀山地区北部)
第2分団(神辺地区)
第3分団(昼生地区)
第4分団(川崎地区)
第5分団(野登地区)
第6分団(白川地区)
第7分団(井田川地区)
第8分団(亀山地区南部)
- 7月 福井県福井市内において水害事故発生に伴い、緊急消防援助隊(三重県隊)として出動
- 12月 消防防災備蓄倉庫竣工
構造 鉄骨造2階建
延べ面積 163.9㎡
- 平成17年 1月 11日、亀山市と関町(1市1町)による市町村合併により新市誕生
合併に伴い、消防団組織の見直しを行い、一団制、12分団及び女性分団が発
足し、定員415名となる。
- 4月 職員2名増員
三重県消防学校教官派遣1名
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 7月 消防本部広報車(亀山61更新)
- 平成18年 10月 移動体電話119番直接受信運用開始
- 2月 第8分団(阿野田)分団車庫及びホース干し鉄塔新築、小型動力ポンプ付き積
載車1台配置(増)
- 3月 消防長米田功氏退職。竹内清氏が就任
職員3名退職
- 4月 消防職員の条例定員71名を76名に改正
職員5名採用
三重県消防学校教官派遣1名
- 5月 救急救命士資格取得1名
- 平成19年 3月 第9分団(関地区消防団詰所)積載車更新
亀山消防署 高規格救急車(救急亀山2)を更新
職員3名退職
- 4月 職員5名採用
- 5月 救急救命士資格取得1名
操法用小型動力ポンプ購入

- 第4分団（田村車庫）小型動力ポンプ更新
- 平成20年 8月 第9分団（新所車庫）小型動力ポンプ付積載車購入
12月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新
2月 新名神高速道路供用開始
3月 第4分団田村車庫改築及びホース干しポール設置
職員5名退職
4月 消防職員の条例定員76名を73名に改正
職員2名採用
三重県と人事交流 防災危機管理部 消防・保安室 派遣1名
三重県消防学校教官派遣1名
5月 救急救命士資格取得1名
6月 第12分団（加太地区消防団詰所）積載車更新
- 平成21年 12月 第2分団（布気車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
2月 第3分団（下庄）分団車庫改築
3月 化学消防ポンプ自動車（II型）を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（III型）に更新
5月 救急救命士資格取得1名
12月 第11分団（沓掛車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
- 平成22年 第4分団（太田）分団車庫改築
3月 消防緊急通信指令設備一部改修
第4分団（能褒野車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車1台配置（増）
消防長竹内清氏退職。渥美正行氏が就任
4月 職員1名採用
三重県防災航空隊派遣1名
5月 救急救命士資格取得1名
7月 消防救助技術全国大会へ派遣（2名）
11月 第5分団（池山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新
平成23年 12月 関消防署指令広報車更新
3月 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊（三重県隊）として出動
職員2名退職
4月 職員2名採用
5月 救急救命士資格取得1名
7月 亀山市消防力適正配置調査の実施
10月 第3分団（中庄車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
平成24年 12月 高規格救急車（救急関1）更新
2月 第11分団（坂下）車庫改築
3月 第6分団（松山車庫）小型動力ポンプ付軽四輪積載車更新
職員1名退職
4月 消防職員の条例定員73名を83名に改正
職員3名増員
亀山市消防本部組織規則を改正し、北東分署建設準備室、指揮支援隊を設置
5月 救急救命士資格取得2名
平成25年 12月 第7分団（川合車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
第10分団（萩原車庫）小型動力ポンプ付積載車更新
指揮支援隊に指揮車（亀山51）を配置
2月 亀山市消防力充実強化プラン策定
3月 亀山消防署 消防ポンプ自動車CD-1を更新
第10分団（会下）車庫新築移転
職員1名退職
4月 消防団長葛西行弘氏退団。松尾幸夫氏が就任
職員5名採用
三重県消防学校教官派遣
消防職員意見発表会（東海地区）へ派遣（1名）
5月 救急救命士資格取得2名
救急ワークステーション（試行）

亀 山 市 勢

面 積 190.91 km²
 人 口 49,661 人
 世 帯 数 20,021 世帯

(行政人口 平成25年4月1日現在)

消 防 本 部 設 置 年 月 日 昭和24年 2月11日
 亀 山 市 消 防 署 設 置 年 月 日 昭和42年 4月 1日
 亀 山 市 消 防 署 関 分 署 設 置 年 月 日 昭和54年 10月 1日
 亀 山 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
 関 消 防 署 設 置 年 月 日 平成9年 4月 1日
 消 防 本 部、 亀 山 消 防 署 所 在 地 三重県亀山市野村四丁目1番23号
 関 消 防 署 所 在 地 三重県亀山市関町木崎37番地 1

人 口 等 に 対 す る 消 防 力 の 比 較 表

(H25. 4. 1現在)

消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 吏 員 80 名	吏 員 1 名 に 対 す る	面 積	2.39 km ²
			人 口	620.76 人
			世 帯 数	250.26 世帯
	消 防 ポ ン プ 7 台	ポ ン プ 1 台 に 対 す る	面 積	27.27 km ²
			人 口	7,094 人
			世 帯 数	2,860.14 世帯

市 予 算 と 消 防 予 算 の 比 較 表

(単位 千円)

区分 年度	市予算額	消防予算額	比率 (%)	備 考
平成18年度	18,429,700	801,685	4.3	当初予算
平成19年度	20,570,100	868,604	4.2	〃
平成20年度	23,120,600	806,476	3.5	〃
平成21年度	19,445,800	712,118	3.7	〃
平成22年度	20,895,000	813,392	3.9	〃
平成23年度	19,885,000	785,404	3.9	〃
平成24年度	21,178,800	824,322	3.9	〃
平成25年度	20,945,100	1,129,643	5.4	〃

消 防 予 算 表

(単位 千円)

区分 年度	合 計	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
平成18年度	801,685	653,256	61,009	87,420
平成19年度	868,604	716,050	58,342	94,212
平成20年度	806,476	599,991	63,049	143,436
平成21年度	712,118	586,767	58,931	66,420
平成22年度	813,392	674,783	60,684	77,925
平成23年度	785,404	604,719	57,945	122,740
平成24年度	824,322	635,322	58,514	130,486
平成25年度	1,129,643	712,164	57,552	359,927

消防庁舎の概要、消防車両等配置状況

亀山市消防本部・亀山消防署

庁舎の概要	所在地	〒519-0165 三重県亀山市野村四丁目1番23号
	電話番号	0595-82-0244（代表）
	構造	鉄筋コンクリート造 3階建
	敷地面積	6,121.26㎡
	建築面積	1,683.20㎡
	延べ面積	2,479.71㎡
	竣工	平成9年4月1日
配置車両	化学消防ポンプ自動車	1台
	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	消防ポンプ自動車	2台
	はしご付消防ポンプ自動車	1台
	指揮車	1台
	指令広報車	2台
	山林火災用軽四積載車	1台
	高規格救急自動車	3台(予備車1台)
	事務連絡車等	2台
	小型動力ポンプ	2台



関消防署

庁舎の概要	所在地	〒519-1107 三重県亀山市関町木崎37番地1
	電話番号	0595-96-1780
	構造	木造2階建一部鉄筋コンクリート造
	敷地面積	2,256.02㎡
	建築面積	685.43㎡
	延べ面積	781.03㎡
	竣工	平成15年3月20日
配置車両	水槽付消防ポンプ自動車	1台
	消防ポンプ自動車	1台
	救助工作車	1台
	指令広報車	1台
	高規格救急自動車	1台



消 防 本 部 (署) 車 両 紹 介

はしご付消防ポンプ自動車

年式 平成16年

油圧駆動式のはしごを最大30mまで伸ばすことが可能で、はしご先端から放水活動や高層建物での人命救助活動などを行います。



化学消防ポンプ自動車

年式 平成21年

消火用の水に、圧縮空気と消火原液を混ぜて、発泡させる装置があり、泡を作りだし、空気を遮断し消火します。高速道路等の水利確保が困難な所でも少ない水量で消火できます。



水槽付消防ポンプ自動車

年式 平成13年

2000ℓの水を積載し、水利の確保が困難な場所や、高速道路等などの場合でも消火活動を行うことができます。



消防ポンプ自動車

年式 平成24年

水槽付消防ポンプ自動車が進입困難な道路狭隘地域に容易に進入することが可能で、早期に火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整えることが可能です。



救助工作車

年式 平成10年

あらゆる災害において人命救助活動に対応可能な車両で、電動ウィンチ、照明、クレーンなどを装備しています。また、各種救助用資器材を積載しています。



高規格救急車

年式 平成24年

従来の救急車の装備に加え、高度救急資器材を積載し、救命処置が行えるようになっています。また、防振ベッドを搭載し、悪路でも振動を軽減します。



消 防 本 部 (署) 車 両 紹 介

山林火災用軽四積載車

年式 平成12年

水槽付消防ポンプ自動車や、消防ポンプ自動車が進入困難な山道、林道に容易に進入することが可能で、山間部の多い亀山市では活躍しています。



防災広報自動車

年式 平成17年

災害時に出動し、地域住民の人たちに必要な情報などを知らせるための自動車です。災害出動時以外は、火災予防の広報などに使用します。



指令広報車

年式 平成13年

火災時に火災調査に出動します。災害出場以外では、立入検査、火災予防の広報などに使用します。



指令広報車

年式 平成22年

災害時に各種機関との連携や調整を行い指令を出すための自動車です。災害出場以外では、立入検査、火災予防の広報などに使用します。



指揮車

年式 平成24年

災害現場において隊員の安全管理や指揮を行います。車内には指揮盤、パソコンやプリンターなどが積載されており、情報収集や関係機関との連絡等を行います。



地 区 別 各 種 出 動 件 数 表

地区別 種別		地区別											
		合計	亀山	井田川	神辺	昼生	川崎	野登	白川	関	坂下	加太	その他 (※1)
火災	合計	25	7	2	1	0	4	5	0	2	2	1	1
	建物	9	3	1	1			2			2		
	林野	0											
	車両	9	2				2	2		1		1	1
	その他 (※2)	7	2	1			2	1		1			
救急	合計	1,923	710	317	119	62	205	102	48	228	59	69	4
	火災	3	1		1								1
	自然災害	1								1			
	水難	0											
	交通	266	87	50	12	6	27	13	2	30	14	22	3
	労働災害	29	5	5	5		8	1	3	1	1		
	運動競技	11	3	2			3			2		1	
	一般負傷	298	96	60	17	11	25	22	12	35	4	16	
	加害	10	3	3		1	2			1			
	自損行為	20	4	2	3	1	2		1	7			
	急病	1,167	407	188	81	43	136	64	30	148	40	30	
	その他 (※3)	118	104	7			2	2		3			
救助	合計	19	6	1	1	1	3	1	0	4	0	2	0
	交通	14	4	1		1	2	1		4		1	
	建物	1					1						
	その他 (※4)	4	2		1							1	
その他	合計	148	22	14	10	4	25	9	1	31	10	15	7
	警戒	19	4	3	1	1	3	1	1	2		2	1
	誤報	24	1	3	1	1	9	1		6			2
	水防	4	3							1			
	その他 (※5)	101	14	8	8	2	13	7		22	10	13	4

(※1) 高速道路などの市外、県外の管轄区域

(※2) 枯草火災など

(※3) 転院搬送など

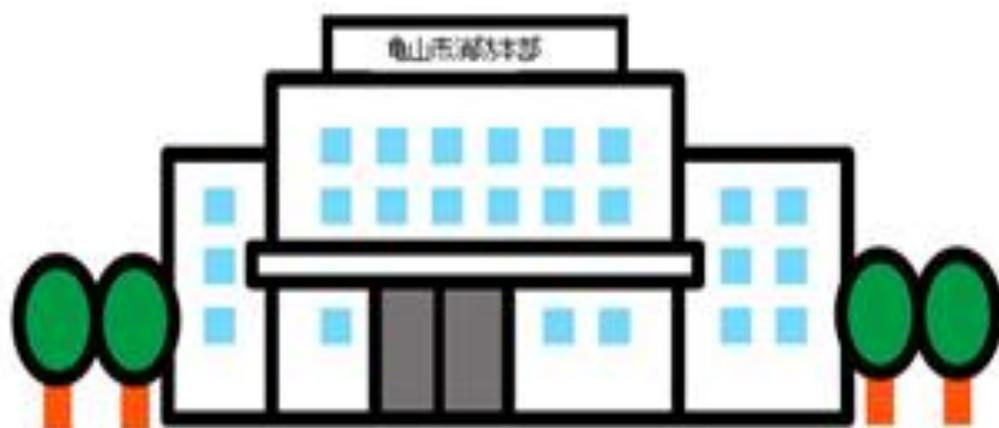
(※4) 機械による事故など

(※5) 救急隊の活動支援など

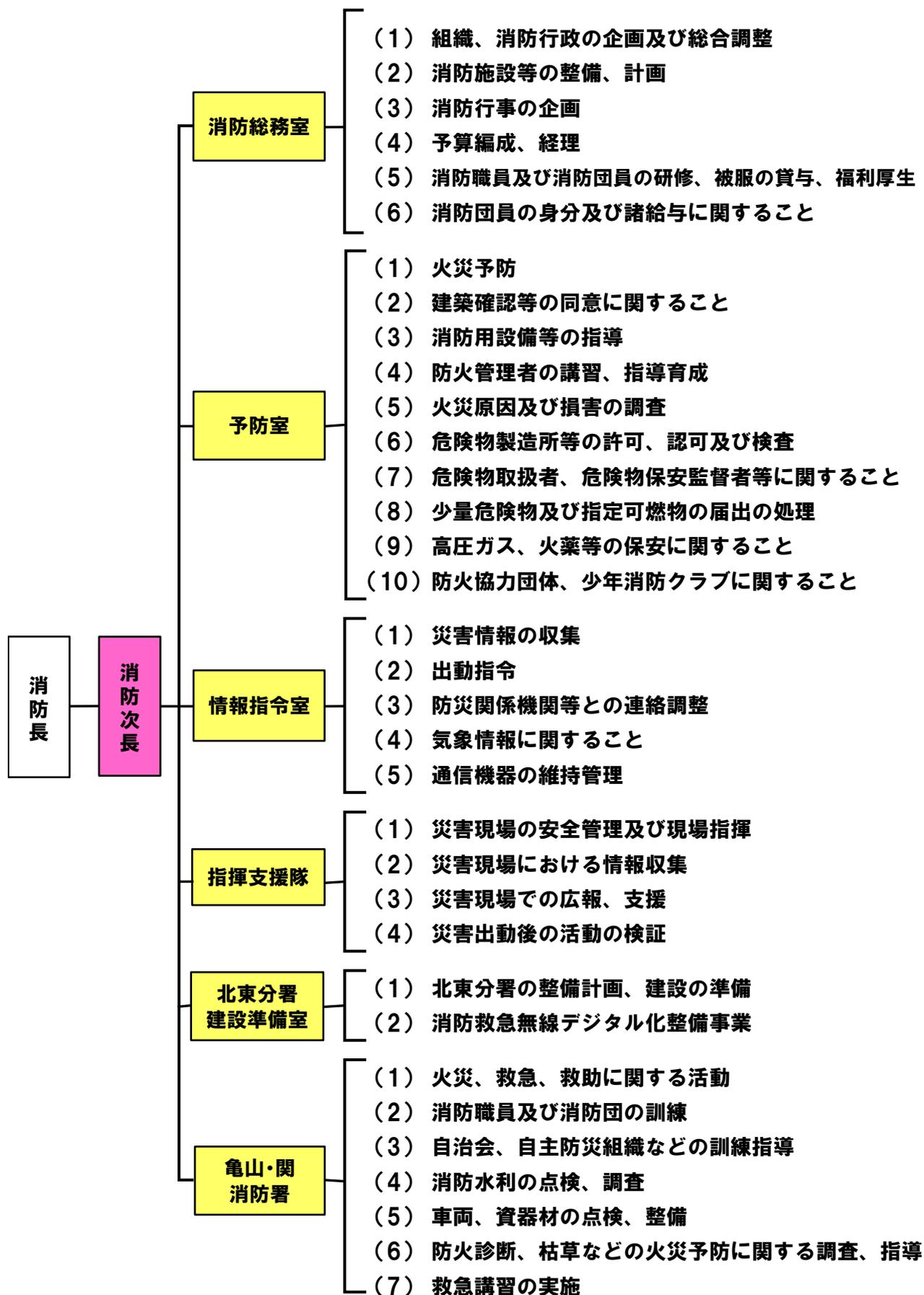
平成24年度中における主な行事等

年	月	日	内 容	
平成24年	4	3	三重県消防長会議及び意見発表会（志摩市）	
		20	全国消防長会東海支部総会（岐阜市）	
		26	亀山市防火協会理事会	
	5	11	危険物取扱者試験予備講習会	
		17	三重県危険物安全協会理事会・総会（津市）	
		20	亀山市水防演習（関消防署南グラウンド）	
		21	県内高速道路連絡協議会全員会議（伊勢市）	
		25	亀山市防火協会総会	
		30	亀山市幼年・女性防火委員会総会	
	6	3～9	危険物安全週間	
		7	三重県危険物安全講習会（名張市）	
		30	鈴亀地区消防連絡協議会定例会（亀山市消防本部）	
	7	8	第8回亀山市消防操法大会（神辺小学校）	
		24・25	甲種防火管理者資格取得講習会	
	8	18	消防フェスタ	
	9	10	救急医療週間記念行事（亀山市）	
		14～16	鈴亀地区消防協議会視察研修（宮城県）	
	10	4	三重県消防長会警防技術交換会	
		12	危険物取扱者試験予備講習会	
		12・13	消防団幹部視察研修（大阪・和歌山）	
		16	三重県消防殉職者慰霊祭（三重県消防学校）	
		28	三重県青年・女性消防団員研修会（津市）	
	11	9	防火フェア（亀山市文化会館）	
		9～15	秋の火災予防運動	
		27	亀山消防職場内研修（防災センター）	
	平成25年	1	5	亀山市消防出初式（亀山市立西小学校）
			26	文化財防火デーに伴う消防訓練（関地藏院）
2		7	新名神高速道路消防訓練（滋賀県甲賀市土山サービスエリア）	
		15	亀山市消防職員意見発表会	
3		1～7	春の火災予防運動	
		2	火災予防広報（亀山ショッピングセンター）	
		6	三重県危険物安全協会総会及び理事会（津市）	
		15	三重県多数傷病者災害対応訓練（三重県消防学校）	

総務



消 防 本 部 ・ 消 防 署 組 織 、 事 務 分 掌



歴 代 消 防 長 一 覧 表

氏 名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
三 宅 長 治	大正12年1月22日	昭和53年4月2日	6年
		昭和59年3月31日	
下 條 繁	昭和3年4月1日	昭和59年4月3日	7年
		平成3年3月31日	
田 名 瀬 治 好	昭和8年1月10日	平成3年4月3日	4年
		平成7年3月31日	
羽 多 野 勇 喜 男	昭和10年5月9日	平成7年4月3日	4年
		平成11年3月31日	
三 宅 昭 之	昭和15年3月27日	平成11年4月5日	3年
		平成14年3月31日	
米 田 功	昭和18年12月22日	平成14年4月4日	4年
		平成18年3月31日	
竹 内 清	昭和22年1月2日	平成18年4月2日	4年
		平成22年3月31日	
渥 美 正 行	昭和26年2月2日	平成22年4月2日	—
		現在に至る	

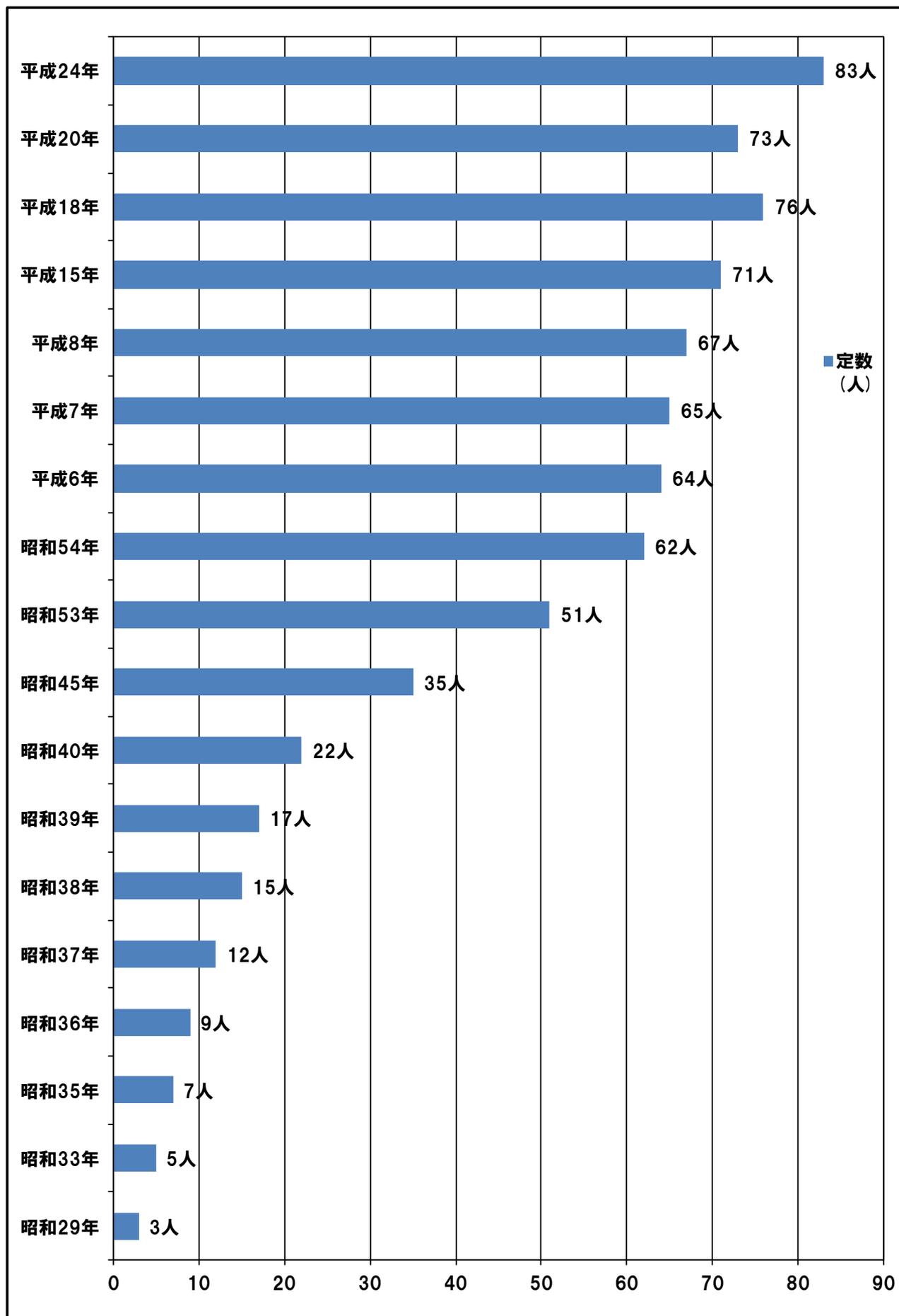
※昭和52年度以前は市長兼務

職 員 配 置 表

(H25.4.15現在)

階級別 所属別		合 計	消 防 更 員						
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
職 員 数		80	1	10	10	29	14	0	16
消 防 本 部	消 防 長		1	1					
	消 防 次 長		1		1				
	消 防 總 務 室	室 長		1		1			
		副室長		1			1		
		室 員		3			1	2	
		消防総務室付 三重県消防学校初任科派遣		5					5
		消防総務室付 危機管理局出向		1		1			
		消防総務室付 三重県消防学校教官派遣		1			1		
	予 防 室	室 長		1		1			
		室 員		4			2	2	
	情 報 指 令 室	室 長		1		1			
		副室長		2			2		
		室 員		6			5	1	
	指 揮 支 援 隊	隊 長		1		1			
		副隊長		1			1		
		隊 員		1				1	
	北 東 分 署 建 設 準 備 室	室 長		1		1			
		副室長		1			1		
		室 員		1			1		
消 防 署	亀 山 消 防 署	署長		1		1			
		特殊災害・高度救急 対策監		1		1			
		副署長		3			3		
		署 員		23			11	5	7
	関 消 防 署	署 長		1		1			
		副署長		2			2		
		署 員		15			8	3	4

条 例 定 数 推 移 表



消 防 職 員 数 の 累 年 比 較 表

(H25.4.15現在)

階級別 年別	合 計	消 防 吏 員								事 務 吏 員
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
平成4年	62		1	2	3	12	18	19	6	1
平成5年	62		1	3	7	12	25	8	5	1
平成6年	64		1	3	7	12	25	8	7	1
平成7年	65		1	5	9	12	23	7	7	1
平成8年	67		1	5	9	12	23	7	9	1
平成9年	67	1		5	8	12	26	2	12	1
平成10年	68	1		5	8	12	27	1	13	1
平成11年	68	1	1	4	8	12	28	1	12	1
平成12年	68	1	1	4	8	12	28		13	1
平成13年	67	1	1	4	8	12	29		12	
平成14年	68	1	1	4	8	19	23		11	1
平成15年	70	1	1	4	8	21	22		13	
平成16年	71	1	1	7	8	21	22		11	
平成17年	73	1	1	7	9	25	18		12	
平成18年	74	1	2	6	7	25	18		15	
平成19年	76	1	1	6	8	24	17		19	
平成20年	73	1	1	6	7	23	16		19	
平成21年	73	1	1	6	10	20	17		18	
平成22年	74		1	8	11	22	15		17	
平成23年	74		1	8	9	26	16		14	
平成24年	77		1	10	10	28	14		14	
平成25年	80		1	10	10	29	14		16	

消 防 職 員 年 令 表

(H25.4.1現在)

階級別 年令別	合 計	職 員 年 令 表						
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	80	1	10	10	29	14	0	16
平 均	40.2	62.0	55.2	54.0	43.1	30.3		24.3
18歳	2							2
19歳	0							
20歳	1							1
21歳	1							1
22歳	2							2
23歳	1							1
24歳	1							1
25歳	2							2
26歳	1							1
27歳	2							2
28歳	3					3		
29歳	4					3		1
30歳	2					2		
31歳	4				1	1		2
32歳	4					4		
33歳	0							
34歳	2				1	1		
35歳	3				3			
36歳	1				1			
37歳	4				4			
38歳	3				3			
39歳	1				1			
40歳	2				2			
41歳	1				1			
42歳	0							
43歳	0							
44歳	1				1			
45歳	1				1			
46歳	1			1				
47歳	1			1				
48歳	0							
49歳	1				1			
50歳	0							
51歳	0							
52歳	8		3		5			
53歳	1				1			
54歳	4		1	2	1			
55歳	2		1	1				
56歳	4		1	3				
57歳	4		2	1	1			
58歳	1		1					
59歳	3		1	1	1			
60歳	0							
62歳	1	1						

職員各種免許等取得状況

(H25.4.1現在)

資格別		階級別		計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
		計									
計				563	2	68	65	237	109	0	82
大型特殊自動車免許				2		1					1
けん引自動車免許				2		1					1
大型自動車免許				64		10	9	29	12		4
中型自動車免許				23		3	1	9	6		4
普通自動車免許				79	1	10	10	29	14		15
自動二輪車免許				33	1	5	6	11	4		6
危険物取扱者 乙4				46		3	5	15	13		10
高圧ガス製造保安責任者				1				1			
無線	特殊無線技士1級陸上			0							
	特殊無線技士2級陸上			73		10	9	29	14		11
	アマチュア無線技士			10		5	2	3			
小型移動式クレーン資格				61		4	7	25	14		11
玉掛け				63		5	7	26	14		11
消防設備士	甲種			0							
	乙種			2				1	1		
衛生管理者	1種			1				1			
	2種			5		3		2			
ボイラー技士	1級			0							
	2級			1				1			
一般毒物劇物取扱者				2				2			
火薬類取扱保安責任者				2				2			
ガス溶接技能者				42		1	2	20	13		6
フォークリフト				3					1		2
電気工事士				2				1	1		
車両系建設機械				1					1		
特定化学物質作業主任者				17		3	1	12	1		
救急救命士				17		4	1	12			
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者				11			5	6			

平成24年度主要事業（施設・備品整備）一覧表

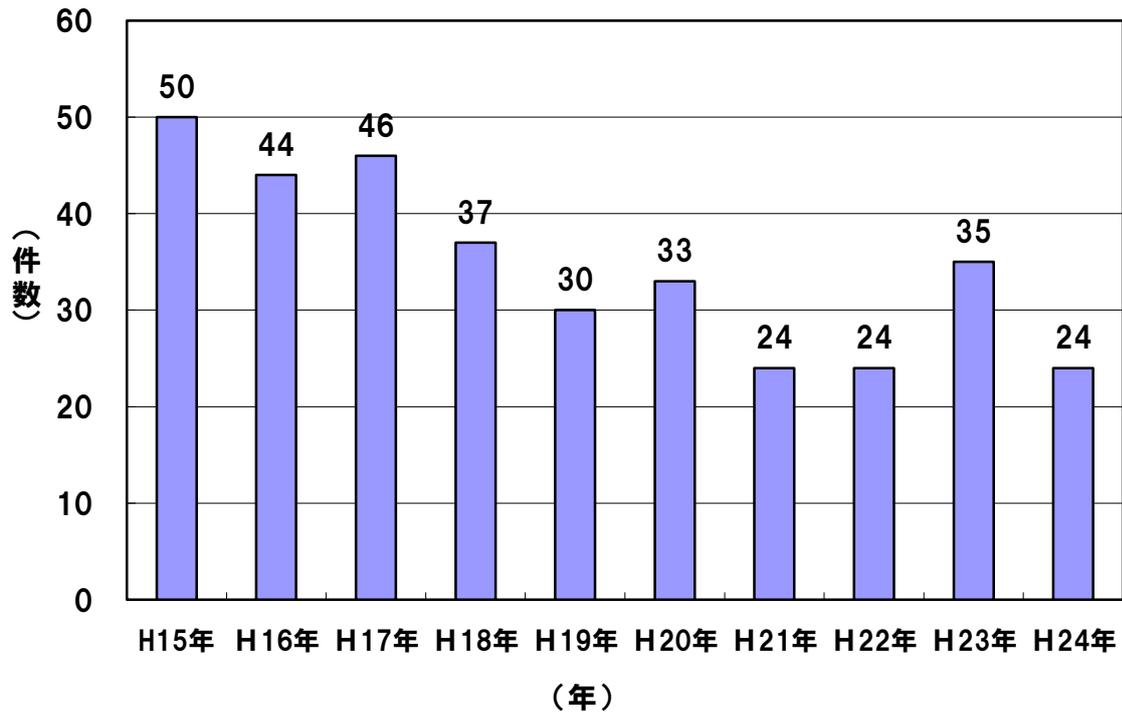
主要事業名	内容
防災基盤整備事業 ○防火水槽新設工事 ○車両等更新 ○施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40m³級耐震性防火水槽2基（阿野田町 山下町） ・ 消防団第7分団川合車庫 小型動力ポンプ付積載車 更新 ・ 消防団第10分団萩原車庫 小型動力ポンプ付積載車 更新 ・ 指揮支援隊 指揮車 配置 ・ 亀山消防署 消防ポンプ自動車 更新 ・ 消防団第10分団会下車庫新築移転
緊急防災事業 ○消防救急無線デジタル化整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動波実施設計委託
市単独事業 ○消防庁舎修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関消防庁舎自動手指洗浄消毒器及び自動うがい器取替修繕 ・ 亀山消防庁舎空調機各種修繕 ・ 亀山消防庁舎自動ドア引分型開閉装置取替修繕
○消火栓設置等工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新設 2基 ・ 改修 12基 ・ 移設 3基 ・ 修繕 6基
○自治会消防用設備設置費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消火器具収納ボックス等 28自治会 11設備等

警 防

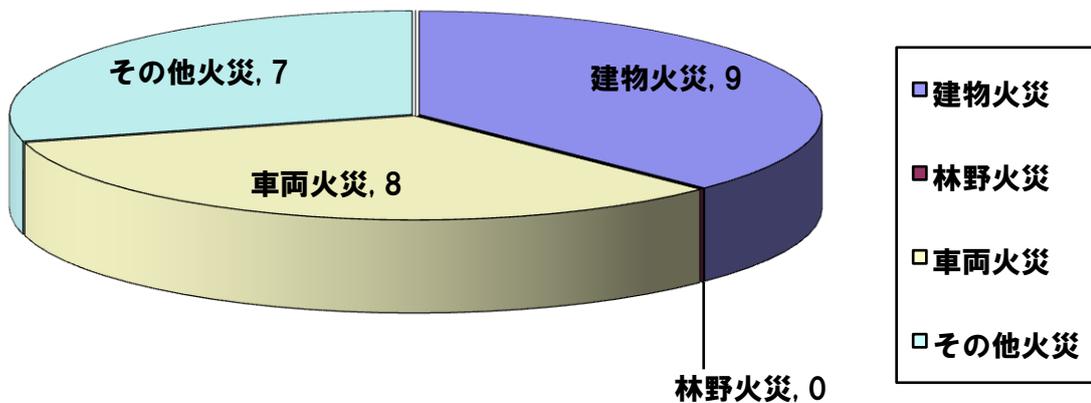


火 災 発 生 状 況

過去10年間の火災件数



平成24年火災種別



10年間の火災件数・損害額等比較表

区分 年別	火災件数					焼損面積		死傷者		損害額(千円)
	合計	建物	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	
平成15年	50	18	1	17	14	1,144	2		4	87,019
平成16年	44	15	2	13	14	1,140	3		1	116,171
平成17年	46	17	2	13	14	626	1		3	49,912
平成18年	37	12	3	10	12	856	6	1	2	41,797
平成19年	30	14	2	6	8	267	20		4	12,106
平成20年	33	19	1	7	6	619	2		4	34,403
平成21年	24	4	2	9	9	6	2			4,313
平成22年	24	7	1	7	9	260	1		2	37,948
平成23年	35	9	1	6	19	742	4	1	2	16,672
平成24年	24	9	0	8	7	750	0	3	1	56,888

出 火 原 因 別 火 災 件 数 表

原因別	月 別												
	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計	24	1	3	3	2	1	2	1	2	2	1	3	3
たばこ	2				1						1		
こんろ	1								1				
かまど	0												
風呂かまど	0												
炉	0												
焼却炉	0												
ストーブ	0												
こたつ	0												
ポイラー	0												
煙突・煙道	0												
排気管	0												
電気機器	0												
電気装置	0												
電灯・電話等の配線	0												
内燃機関	0												
配線器具	0												
火あそび	0												
マッチ・ライター	0												
たき火	2					1							1
溶接機・切断機	0												
灯火	0												
衝突の火花	0												
取灰	0												
火入れ	0												
放火	2			1									1
放火の疑い	3							1				1	1
その他	11	1	2	1	1		2		1	2		1	
不明	3		1	1								1	

月 別 火 災 状 況

区分 月別	出火件数					焼損面積		死傷者			損害額 (千 円)				
	合計	建物	林野	車両	その他	建物 (m ²)	林野 (a)	死者	負傷者	り災世帯	合計	建物	林野	車両	その他
合計	24	9	0	8	7	750	0	3	1	2	56,888	30,594	0	19,316	6,978
1月	1				1						0				0
2月	3	1		1	1	43		3			21,787	5,964		8,893	6,930
3月	3			2	1				1		338			338	0
4月	2	1			1	353				1	8,341	8,341			0
5月	1				1						0				0
6月	2	1		1		10					8,472	112		8,360	
7月	1			1							200			200	
8月	2	1		1		1				1	1,271	32		1,239	
9月	2			2							286			286	
10月	1				1						0				0
11月	3	3				138					5,152	5,152			
12月	3	2			1	205					11,041	10,993			48

出 火 時 間 帯 別 火 災 状 況

区分 時間帯別	火 災 件 数					焼 損 面 積		死 傷 者		損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者	
合 計	24	9	0	8	7	750	0	3	1	56,888
0～ 1	1	1				0				24
1～ 2	0									
2～ 3	0									
3～ 4	0									
4～ 5	4	1		3		33		1		9,654
5～ 6	1			1						331
6～ 7	0									
7～ 8	0									
8～ 9	0									
9～10	1				1					0
10～11	0									
11～12	1				1					0
12～13	1	1				10				112
13～14	4	1		1	2	353				16,510
14～15	2	1		1		204				18,253
15～16	3	1		1	1	43		2		6,204
16～17	1	1				1				32
17～18	0									
18～19	2			1	1				1	7
19～20	1				1					48
20～21	1	1				105				4,613
21～22	1	1				1				1,100
22～23	0									
23～24	0									

龜 山 市 消 防 水 利 一 覽 表

H25.4.1現在

区 分	地区別		合 計	龜 山	井 田 川	神 辺	昼 生	川 崎	野 登	白 川	関	加 太	坂 下
	合 計												
合 計		2,075	601	292	133	82	243	132	101	359	102	30	
消 火 栓	配 管 径	小 計	1,654	505	249	110	58	184	102	81	279	66	20
		50mm	11	2		1	5	1			1		1
		75mm	666	196	97	34	18	65	49	18	129	48	12
		100mm	384	96	51	27	13	48	30	33	67	15	4
		125mm	9	2	1				1		5		
		150mm	346	127	61	10	20	40	22	25	35	3	3
		200mm	86	34	8		2	8		5	29		
		250mm	42	19	5	13					5		
		300mm	50	9	11	25		5					
		350mm	29	11	10						8		
		400mm	21	4	5			12					
		450mm	10	5				5					
防 火 水 槽	公 設	小 計	421	96	43	23	24	59	30	20	80	36	10
		20m ³ 未満	34	4	5	2		3	3	2	7	8	
		20m ³ 以上～ 40m ³ 未満	100	14	3	7	6	15	8	6	23	14	4
		40m ³ 以上～ 60m ³ 未満	273	69	34	14	18	41	19	12	47	14	5
		60m ³ 以上～ 100m ³ 未満	7	5							1		1
		100m ³ 以上	7	4	1						2		

月 別 消 防 訓 練 指 導 回 数 表

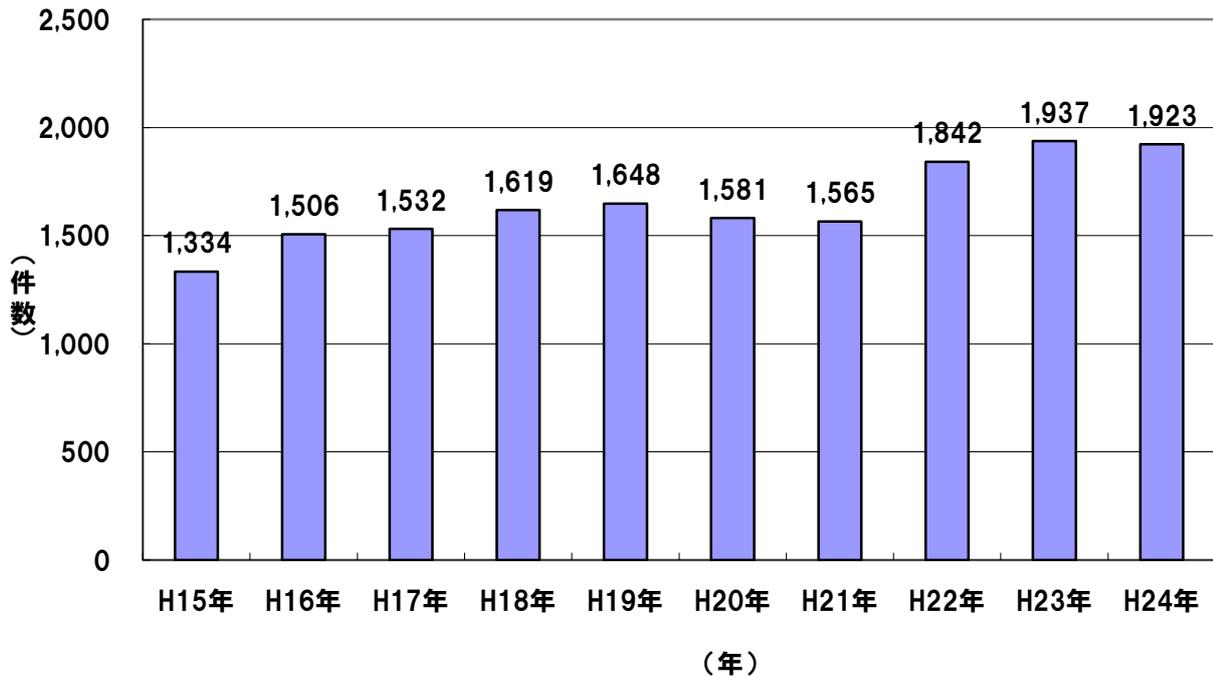
実施主体別 月 別	合 計	自 治 会	事 業 所	保 幼 育 稚 園	そ の 他
合 計	107	26	52	27	2
4 月	2		2		
5 月	4		3		1
6 月	20		5	14	1
7 月	2	1	1		
8 月	8	6	2		
9 月	14	5	9		
10 月	13	4	3	6	
11 月	19	6	9	4	
12 月	3		2	1	
1 月	2		2		
2 月	9	2	6	1	
3 月	11	2	8	1	

救 急

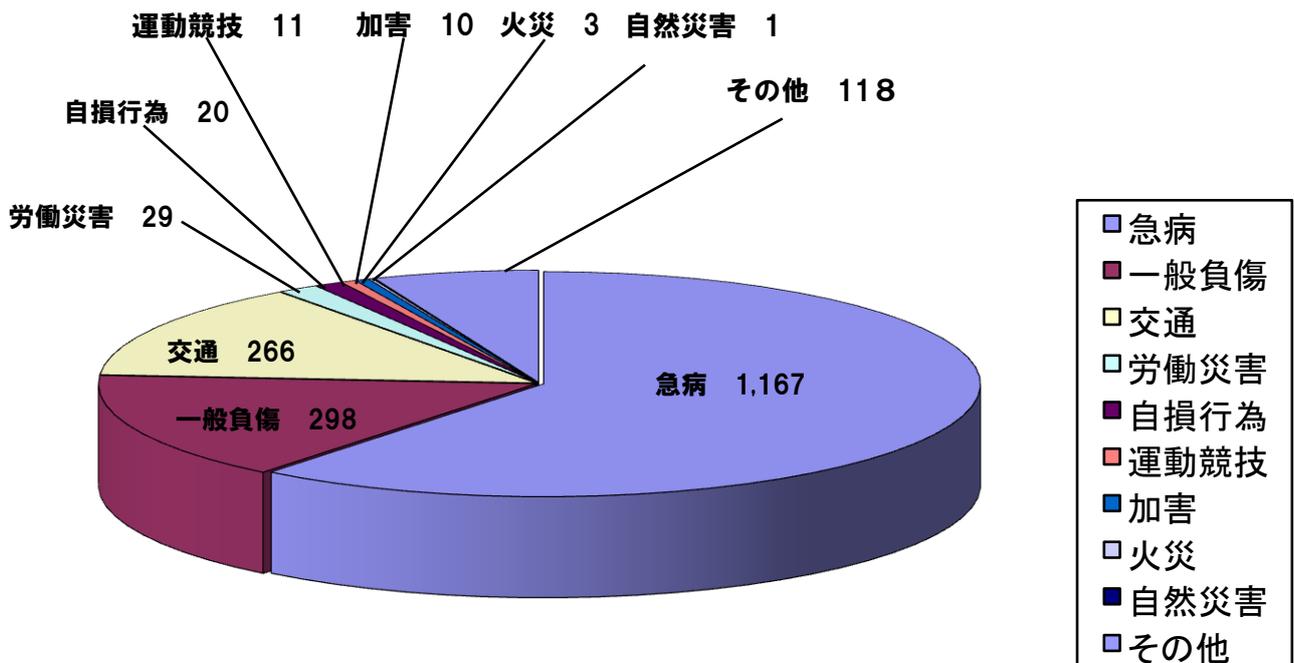


救 急 出 動 状 況

過去10年間の救急出動件数



平成24年救急種別



年 別 救 急 出 動 状 況

事故別		年別									
		平成 15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
合 計	出動件数	1,334	1,506	1,532	1,619	1,648	1,581	1,565	1,842	1,937	1,923
	搬送人員	1,368	1,515	1,553	1,653	1,655	1,540	1,551	1,809	1,897	1,863
交通事故	出動件数	284	289	272	289	290	263	226	291	275	266
	搬送人員	367	359	345	365	356	304	278	334	322	304
急 病	出動件数	729	824	917	957	1,007	958	969	1,130	1,155	1,167
	搬送人員	688	777	871	927	954	893	921	1,071	1,089	1,092
一般負傷	出動件数	173	200	195	204	208	209	217	244	312	298
	搬送人員	170	191	193	200	203	201	213	232	300	286
労働災害	出動件数	24	40	25	31	41	24	32	23	26	29
	搬送人員	24	40	27	31	41	25	33	23	26	29
自損行為	出動件数	15	17	10	16	4	24	23	20	18	20
	搬送人員	14	13	8	11	4	17	13	15	11	12
加 害	出動件数	4	13	10	9	7	11	3	4	10	10
	搬送人員	4	15	11	10	6	11	2	4	9	8
運動競技	出動件数	10	5	7	7	2	4	8	10	12	11
	搬送人員	11	5	7	7	2	4	7	10	12	12
水 難	出動件数						1	2			
	搬送人員						0	1			
火 災	出動件数	1	1			1	2		1	1	3
	搬送人員	1	1			1	2		1		3
自然災害	出動件数		1			2					1
	搬送人員		1			3					
そ の 他	出動件数	94	116	96	106	86	85	85	119	128	118
	搬送人員	89	113	91	102	85	83	83	119	128	117

月 別 救 急 出 動 件 数 表

月別 区分	事故別 計	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
													小 計	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
合 計	出動件数	1,923	3	1		266	29	11	298	10	20	1,167	118	115	1		2
	搬送件数	1,797	2			243	29	11	284	8	12	1,092	116	115			1
	不搬送件数	126	1	1		23			14	2	8	75	2		1		1
	搬送人員	1,863	3			304	29	12	286	8	12	1,092	117	115			2
1 月	出動件数	173				26	1	1	25	1	2	105	12	12			
	搬送人員	171				32	1	1	24	1	2	98	12	12			
2 月	出動件数	139	1			17	1		32	1		81	6	6			
	搬送人員	136	2			19	1		31	1		76	6	6			
3 月	出動件数	175	1			28	4	2	17		1	113	9	9			
	搬送人員	176	1			34	4	2	16			110	9	9			
4 月	出動件数	162	1			23	4	1	21	1	1	102	8	7	1		
	搬送人員	156				22	4	1	21		1	100	7	7			
5 月	出動件数	134				17	2		27		2	76	10	10			
	搬送人員	126				18	2		24		1	71	10	10			
6 月	出動件数	144				14	1		27		3	95	4	4			
	搬送人員	135				15	1		27		1	87	4	4			
7 月	出動件数	164				18	1	2	24	2	1	107	9	9			
	搬送人員	158				18	1	3	24	2	1	100	9	9			
8 月	出動件数	174				34	3	2	28	2	2	90	13	13			
	搬送人員	179				43	3	2	27	2	2	87	13	13			
9 月	出動件数	134		1		19	3	2	20	1	1	78	9	9			
	搬送人員	131				22	3	2	20	1	1	73	9	9			
10 月	出動件数	150				23	4	1	24		3	88	7	7			
	搬送人員	144				27	4	1	23		2	80	7	7			
11 月	出動件数	182				24	3		31	1	1	105	17	16			1
	搬送人員	174				27	3		30	1		95	18	16			2
12 月	出動件数	192				23	2		22	1	3	127	14	13			1
	搬送人員	177				27	2		19		1	115	13	13			

時 間 帯 別 救 急 出 動 件 数 表

事故別 時刻別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 為 害	急 病	そ の 他
合計	1,923	3	1	0	266	29	11	298	10	20	1,167	118
0～2未満	99				4	1		6	1		83	4
2～4 "	75				7	1		3	2	1	60	1
4～6 "	51				5			6		1	39	
6～8 "	135				17	1		20	1	4	92	
8～10 "	228				34	6	2	35	1	1	130	19
10～12 "	250				24	7	6	51		3	126	33
12～14 "	191				29	3	1	34		1	107	16
14～16 "	194	1			36	6	1	28	1		108	13
16～18 "	207		1		41	3		39		3	109	11
18～20 "	195	2			40	1		29		2	110	11
20～22 "	172				16		1	25	2	2	119	7
22～24 "	126				13			22	2	2	84	3

応 急 処 置 別 件 数 表

事故別 応急処置別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
合 計	7,286 (99)	4,479 (64)	1,086 (18)	1,092 (8)	629 (9)
止 血	44	4	15	20	5
固 定	386 (4)	26 (1)	220 (3)	117	23
人工呼吸	5	3	1	1	
心臓マッサージ	2	2			
心肺蘇生	48 (1)	36 (1)	4	6	2
酸素吸入	398 (1)	298 (1)	22	32	46
気道確保	107 (1)	85 (1)	5	10	7
保 温	171	135	12	12	12
被 覆	188 (2)	1	84 (1)	83	20 (1)
在宅療法継続	44	37		6	1
ショックパンツ	0				
除細動	2	1			1
静脈路確保	16	15		1	
薬剤投与	2	2			
血圧測定	1,779 (25)	1,041 (15)	294 (6)	272 (3)	172 (1)
心音・呼吸音聴取	266 (6)	182 (4)	45 (1)	27 (1)	12
血中酸素測定	1,797 (25)	1,054 (14)	294 (6)	275 (3)	174 (2)
心電図	778 (21)	624 (17)	34	69	51 (4)
その他	1,253 (13)	933 (10)	56 (1)	161 (1)	103 (1)
応急処置対象人員	1,859 (50)	1,092 (33)	302 (8)	286 (3)	179 (6)

()内は不搬送の場合の現場応急処置件数

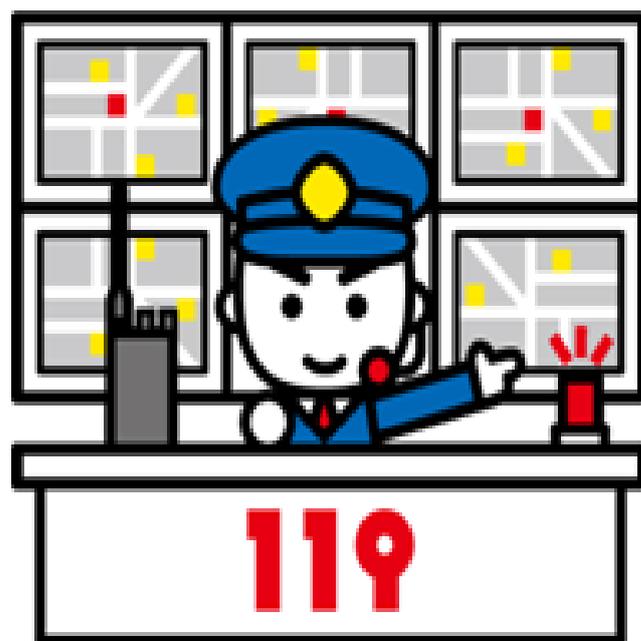
年 令 別 搬 送 人 員 表

事故別 年令別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	1,863	3	0	0	304	29	12	286	8	12	1,092	117
新 生 児 (生後28日以下)	3										1	2
乳 幼 児 (生後29日～6才)	108				15			26			63	4
少 年 (7才～17才)	82				30	2	5	7		2	33	3
成 人 (18才～64才)	711	3			212	23	7	69	7	10	350	30
高 齢 者 (65才以上)	959				47	4		184	1		645	78

月 別 救 命 講 習 参 加 人 員 表

講習区分別 月別	合計	一般	普通救命	上級	普及員
合計	2,358	1,124	1,203	0	31
4月	74		74		
5月	447	47	400		
6月	322	225	97		
7月	291	192	99		
8月	63	52	11		
9月	524	255	269		
10月	142	96	30		16
11月	191	120	56		15
12月	61	29	32		
1月	43	15	28		
2月	115	67	48		
3月	85	26	59		

通信 · 指令



消防緊急通信指令システム概要

情報指令室は、119番通報の受信により各署へ迅速な出動指令を行うほか、各出動車両に支援情報等を送り、複雑多様化するさまざまな災害に的確に対処しています。



平成22年3月から、NTT電話及び携帯電話、IP電話（インターネットを利用する電話）からの119番通報時に対して、「119番通報位置情報通知システム」の運用を開始しています。

このシステムは、119番通報時に、音声通話と同時に通報者の位置情報を消防本部に通知するものです。

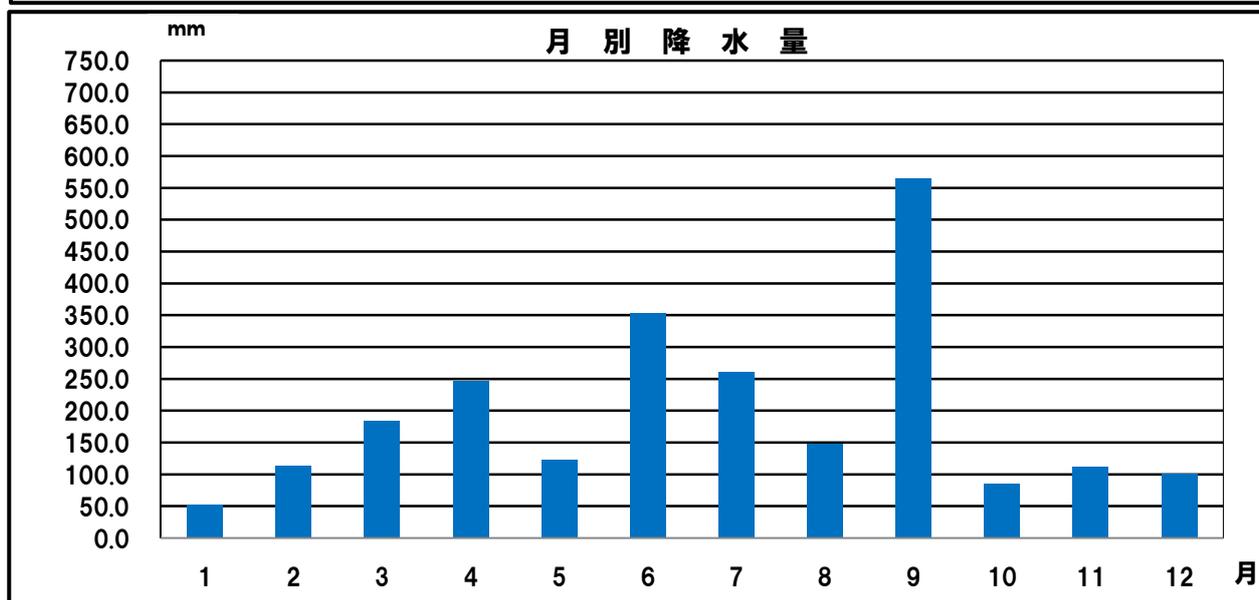
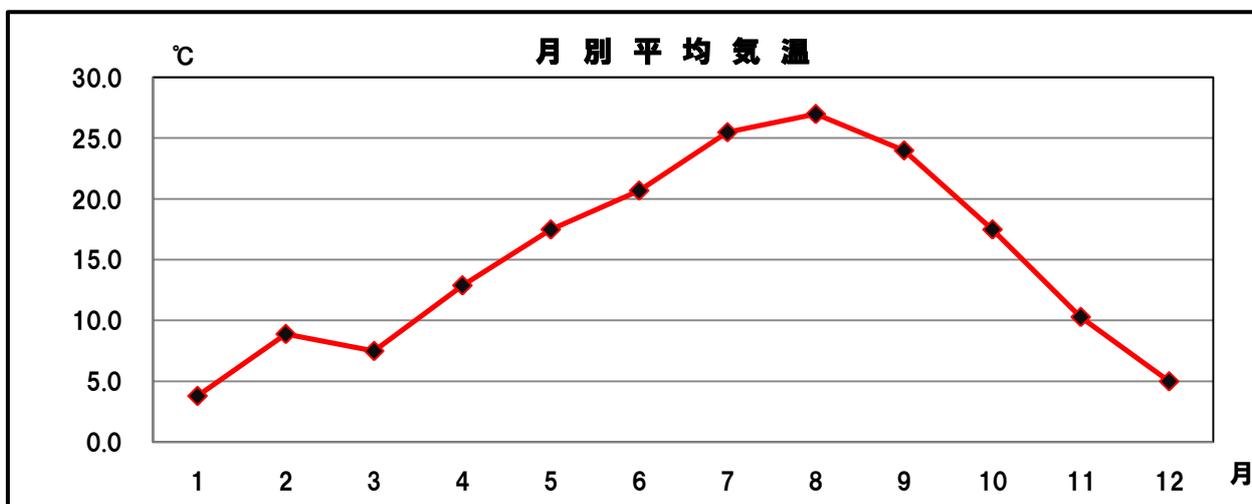


*平成28年5月末日までに、消防・救急無線はアナログ回線からデジタル回線に移行します。

月 別 気 象 状 況

	主たる風向	風 速 (m/s)		気 温 (°C)			湿 度 (%)		降 水 量 (mm)
		平 均	最大瞬間	平 均	最 高	最 低	平 均	最 低	
1月	西北西	4.6	22.2	3.8	12.0	-4.6	78.7	32.3	53.0
2月	西北西	4.7	23.0	8.9	14.6	-5.7	75.7	34.4	113.0
3月	西北西	4.5	22.5	7.5	19.3	-2.1	75.4	18.6	184.0
4月	西北西	4.1	27.1	12.9	27.9	-1.0	79.5	14.1	246.5
5月	西北西	4.4	23.6	17.5	28.8	7.7	78.1	30.0	123.0
6月	西北西	3.5	25.8	20.7	31.6	14.1	86.1	38.9	353.0
7月	西北西	2.8	19.6	25.5	35.4	19.0	87.4	43.8	261.0
8月	東南東	2.7	15.9	27.0	35.1	21.5	84.3	40.0	147.5
9月	西北西	3.3	23.6	24.0	32.1	16.3	86.1	39.5	565.0
10月	西北西	4.3	23.6	17.5	28.3	8.1	77.8	34.0	85.0
11月	西北西	3.9	19.5	10.3	20.4	1.3	80.1	35.6	112.0
12月	西北西	4.6	22.8	5.0	14.7	-3.4	75.9	34.4	100.5
平均	西北西	4.0		15.1			80.4		195.3

※各項目の最大（最高）値を赤で、最小（最低）値を青で記載しています。



予 防



防 火 対 象 物 一 覧 表

(H25. 3. 31現在)

防火対象物の別		施行令第6条による防火対象物	防火管理者を必要とする防火対象物	
			甲種	乙種
1	イ	劇場・映画館・観覧場	1	
	ロ	公会堂・集会場	94	74
2	イ	キャバレー・カフェー等		
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	
	ハ	風俗営業等の店舗		
	ニ	カラオケボックス等		
3	イ	待合・料理店の類	1	1
	ロ	飲食店	60	25
4		百貨店・マーケット等	92	10
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	375	4
6	イ	病院・診療所・助産所	27	1
	ロ	養護施設・児童福祉施設	19	
	ハ	老人サービス等	31	
	ニ	幼稚園・養護学校	7	
7		小・中・高・大学・各種学校	85	14
8		図書館	4	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等		
	ロ	公衆浴場	1	
10		停車場	4	
11		神社・寺院・教会の類	34	2
12	イ	工場・作業場	532	1
	ロ	映画・テレビスタジオ		
13	イ	車庫・駐車場	50	
	ロ	飛行機等の格納庫		
14		倉庫	361	
15		前各項に該当しない事業所	424	17
16	イ	特定複合用途建築物	205	29
	ロ	その他の複合用途建築物	95	3
17		文化財等の建造物	11	2
18		延長50m以上のアーケード	1	
合 計			2,539	183

各 種 届 出 処 理 状 況

(H24.4.1~H25.3.31)

区 分	件 数
建 築 同 意 件 数	69
消 防 用 設 備 等 着 工 届	86
消 防 用 設 備 等 設 置 届	68
防 火 对 象 物 使 用 開 始 届	39
消 防 計 画	40
防 火 管 理 者 選 解 任 届	63
乾 燥 設 備	1
炉	3
厨 房 設 備	
ボ イ ラ 一 設 備	8
給 湯 湯 沸 設 備	8
変 電 設 備	8
発 電 設 備	4
サ ウ ナ 設 備	
蓄 電 池 設 備	4
ネ オ ン 管 灯 設 備	
り 災 証 明 交 付 数	9
喫 煙 ・ 裸 火 の 使 用 等	11
火 災 と ま ぎ ら わ し い 行 為	100
煙 火 打 上	33
道 路 交 通 障 害	835
水 道 の 断 水	1
催 物 開 催	1
少 量 危 険 物	5
指 定 可 燃 物	2
液 化 石 油 ガ ス	13
合 計	1,411

危険物製造所等の施設推移状況（完成検査済）

（H25.3.31現在）

製造所等		年度別				
		平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
合 計		397	392	385	377	365
製 造 所		2	2	2	2	2
貯蔵所	屋内貯蔵所	51	51	51	51	50
	屋外タンク貯蔵所	70	71	71	71	69
	屋内タンク貯蔵所	48	48	48	42	42
	地下タンク貯蔵所	60	58	55	55	53
	簡易タンク貯蔵所	0	0	0	0	0
	移動タンク貯蔵所	14	13	12	12	12
	屋外貯蔵所	17	17	16	16	16
取扱所	給油取扱所	58	57	57	57	53
	販売取扱所	0	0	0	0	0
	一般取扱所	77	75	73	71	68

危険物製造所等申請・届出処理状況

(H24.4.1~H25.3.31)

区分	月別												
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	293	45	22	29	23	33	20	26	21	14	17	24	19
許可 (設置・変更)	57	8	6	5	4	9	2	6	1	4	5	5	2
完成検査 (設置・変更)	50	5	6	5	3	5	7	5	1	4	1	2	6
仮使用承認申請書	47	6	4	4	3	9	2	6	1	1	4	4	3
仮貯蔵仮取扱承認 申請書	8						2	2	3				1
完成検査前検査申請書	2											2	
保安監督者 選任・解任届出書	37	11	3	6	2		1	3	6		3		2
設置者の氏名 変更届出書	23	5	1	5	2	3			2		1	2	2
譲渡引渡届出書	1											1	
予防規程認可申請書	7	1				1	1		3			1	
品名、数量又は指定数量の 倍数変更届出書	9			1		4	1		1	1		1	
廃止届出書	14	2	2	1	4				2		1	2	
休止届出書	1			1									
資料提出書	35	7		1	4	2	4	3	1	4	2	4	3
危険作業開始届出書	0												
危険物事故発生届	1				1								
在庫管理計画書	0												
完成検査済証 再交付申請書	1							1					

住宅用火災警報器に関するアンケート調査結果等

(平成24年度)



☆ アンケート結果 (主なもの) ☆

★アンケートによる設置率	75.2%
★アンケート回答数	795世帯
★寝室と階段に設置が義務付けられたことをご存知ですか。 知っている85% 知らない15%	
★寝室、階段以外には、どこに設置してありますか。 台所37% 居間18% 廊下7% その他3%	
★設置していない理由は何ですか。(主なもの) 費用がかかる 19% 知らないから 32% 取付困難 7% 効果が疑問 4% 罰則がないから 4% 購入方法不明 5%	

(参考：消防庁発表 平成24年6月時点の推計普及率 全国77.5%、三重県73.0%、亀山市75.3%)

☆ 万が一、警報が鳴った時の正しい対処について ☆

① **火災の時** 警報器が鳴り、火災を見つけたら次のような対処をしましょう。

- (1) 可能なら**初期消火**をしましょう。
- (2) 周囲に**大声**で知らせましょう。
- (3) **避難**しましょう。
- (4) **119番通報**しましょう。



② **火災でない時**

警報音停止ボタンを押すか、室内の換気をすると警報音は止まります。以下のものに注意！

- (1) 燻煙式殺虫剤
- (2) ホコリや小さな虫
- (3) 調理時に発生する大量の煙や湯気

③ **電池切れの場合**

電池を新しいものに交換してください。

※ 電池寿命10年タイプは機器交換をしましょう。

④ **機器異常の場合**

「ピッピッピ」と一定の間隔で鳴る場合は、機器の異常です。

※ 新しい火災警報器に交換しましょう。

購入の際には下記のNSマーク付きのものを選ぶようにしましょう。



その他 ※ **悪質な訪問販売にご注意を!**

消防職員などを装い、義務化されたことを理由に個人宅を訪問し、不適切な価格で売りつける事例が増加しています。

消防職員などが販売をあっせんしたり、特定の業者に販売を委託することも絶対にありません。

幼少年・女性防火委員会加入団体一覧表

(H25. 4. 1現在)

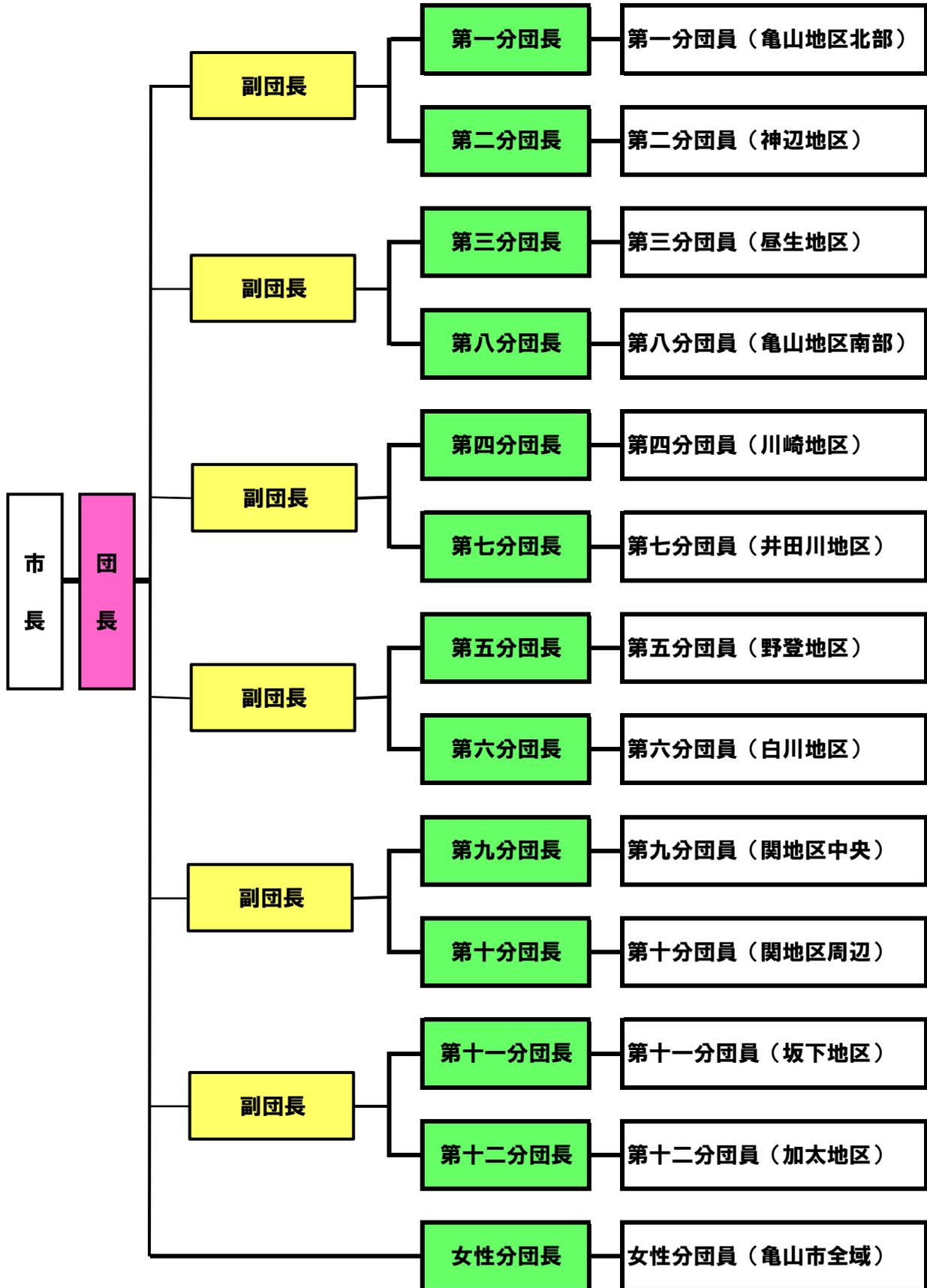
クラブ名称	クラブ員数	結成年月日
亀山愛児園幼年消防クラブ	51	昭和59年12月1日
亀山市第三愛護園幼年消防クラブ	22	昭和59年12月1日
川崎愛児園幼年消防クラブ	67	昭和59年12月1日
坂本女性防火クラブ	13	昭和63年7月1日
池山女性防火クラブ	6	昭和63年7月1日
安楽女性防火クラブ	11	昭和63年7月1日
原尾女性防火クラブ	9	昭和63年7月1日
辺法寺女性防火クラブ	19	昭和63年7月1日
小川女性防火クラブ	17	平成6年6月1日
楠平尾女性防火クラブ	1	平成8年4月1日
CEFみずほ台女性防火クラブ	17	平成22年4月1日
亀山市少年消防クラブ	13	平成24年4月1日
合 計	246	

消防団



消 防 団 組 織

定員415名
実員406名（平成25年4月1日現在）



歴代消防団長一覧表

旧亀山市 (合併前)

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
伊藤 栄二郎	明治42年10月13日	昭和30年5月1日	14年5カ月
		昭和44年10月10日	
一見 忠夫	大正2年7月9日	昭和44年12月1日	11年4カ月
		昭和56年3月31日	
村山 守	昭和6年8月7日	昭和56年4月1日	10年0カ月
		平成3年3月31日	
鈴木 吉男	大正13年2月25日	平成3年4月1日	6年7カ月
		平成9年10月31日	
葛西 行弘	昭和10年10月30日	平成9年11月1日	7年2カ月
		平成17年1月10日	

旧関町

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
山内 喜久夫	大正2年5月24日	昭和30年4月17日	4年9カ月
		昭和35年1月27日	
吉沢 利信	大正3年3月26日	昭和35年1月28日	11年3カ月
		昭和46年4月30日	
松林 孝太郎	大正15年3月1日	昭和46年5月1日	5年9カ月
		昭和52年1月31日	
川戸 薫	昭和3年1月3日	昭和52年2月1日	18年2カ月
		平成7年3月31日	
山内 克巳	昭和11年5月25日	平成7年4月1日	6年0カ月
		平成13年3月31日	
落合 秀史	昭和12年12月4日	平成13年4月1日	3年9カ月
		平成17年1月10日	

亀山市 (合併後)

氏名	生年月日	就任年月日	在職年数
		退任年月日	
葛西 行弘	昭和10年10月30日	平成17年1月11日	8年3ヶ月
		平成25年3月31日	
松尾 幸夫	昭和22年10月1日	平成25年4月1日	—
		現在に至る	

消 防 団 員 配 置 表

(H25. 4. 1 現在)

階級別 組織別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
実 員	406	1	6	13	26	44	46	270
団 本 部	7	1	6					
第 一 分 団	30			1	2	4	3	20
第 二 分 団	33			1	2	4	5	21
第 三 分 団	33			1	2	4	3	23
第 四 分 団	40			1	2	4	5	28
第 五 分 団	40			1	2	4	6	27
第 六 分 団	33			1	2	4	4	22
第 七 分 団	23			1	2	2	2	16
第 八 分 団	26			1	2	2	2	19
第 九 分 団	35			1	2	4	4	24
第 十 分 団	38			1	2	4	4	27
第 十 一 分 団	20			1	2	3	3	11
第 十 二 分 団	30			1	2	3	3	21
女 性 分 団	18			1	2	2	2	11

消 防 団 員 年 令 表

(H25.4.1)

階級別 年齢別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	406	1	6	13	26	44	46	270
平均年齢	42.6	65.0	60.2	55.5	52.8	48.6	46.5	38.9
18才	0							
19才	0							
20才	0							
21才	0							
22才	1							1
23才	1							1
24才	3							3
25才	1							1
26才	5							5
27才	9							9
28才	3							3
29才	5							5
30才	4							4
31才	7							7
32才	10							10
33才	9							9
34才	8							8
35才	17							17
36才	16						1	15
37才	14					1	1	12
38才	20						3	17
39才	22					1	1	20
40才	19					1	1	17
41才	20				1	2	2	15
42才	21				1	3	3	14
43才	20			1		3	2	14
44才	11						2	9
45才	17				2		2	13
46才	15			1		2	4	8
47才	16				2	3	3	8
48才	23			1	3	6	6	7
49才	9				1	4	2	2
50才	13			1	1	3	4	4
51才	5			1	1	1	1	1
52才	9		1		2	4	2	
53才	3					2	1	
54才	6				1	2	2	1
55才	5				1	1		3
56才	2					1	1	
57才	3			2	1			
58才	8				3	2	1	2
59才	6				2	1	1	2
60才	7		1	3	2	1		
61才	1		1					
62才	5		2	1				2
63才	2			1				1
64才	2		1		1			
65才以上	3	1		1	1			

消 防 団 車 両 等 一 覧 表

消防ポンプ自動車
年式 昭和62年

水槽付消防ポンプ自動車が入り難い道路狭
隘地域に容易に入ることが可能で、早期に
火災現場直近の水利を確保し、放水体制を整え
ることが可能です。



小型動力ポンプ付積載車
年式 平成23年

小型のトラックに小型動力ポンプ（可搬ポン
プ）を積んだ車両です。消防団車両に多く配備
されています。



小型動力ポンプ付積載軽四輪車

年式 平成23年

軽自動車に小型動力ポンプ（可搬ポンプ）を
積んだ車両です。消防団車両で現在市内に3台
配備されています。



山林火災用軽四輪車

年式 平成10年

水槽付消防ポンプ自動車や、消防ポンプ自動
車が入り難い山道、林道に容易に入ることが
可能で、山間部の多い亀山市では活躍して
います。



小型動力ポンプ付台車

年式 平成23年

小型動力ポンプ付台車は、容易に操作ができ
消防自動車が入り難い現場到着前に、早期に火災現場直
近の水利を確保し、放水体制を整えることが可
能です。



消防の歌



亀山市消防の歌

作詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

大らかに力強く

すすか やまなみ くもあーお く
あゆみゆ かしい ふるさーと
ぶんかをまもる このしめい いざことあらば さきがけて お
おお かめ やま し しょうぼう われ ら

亀山市消防の歌

作詞 滝田常晴
作曲 青木玲二

一、鈴鹿やまなみ 雲青く

歴史ゆかしい ふるさとの

文化を守る この使命

いざことあらば さきがけて

おお亀山市消防 われら

二、火にも水にも たゆみなく

つねに備えて はらからの

生命を守る この力

固く こぞりたつ

おお亀山市消防 われら

三、進む時代に たくましく

究める道は 遠くとも

みがき鍛えて さえる技術

誇りも高く 光り呼ぶ

おお亀山市消防 われら